

NPO活動事業報告書

令和4年度



政策経営部 あだち未来支援室

協働・協創推進課

令和5年12月

「NPO活動事業報告書」発行にあたって

足立区NPO活動支援センター（以下、「センター」という。）は、地域貢献を目指すNPO法人および任意団体等への支援と育成を行い、地域社会の活性化を図ることを目的に、平成15年6月に設置された施設です。

令和5年3月末現在登録団体は215団体となり、センターを中心に、福祉・健康・子育て分野に106団体、教育・文化・芸術・スポーツ分野に57団体、まちづくり・環境分野に27団体、平和・人権・国際交流分野に13団体、IT・経済活動分野に2団体、その他10団体が区内各地で活動しています。

センターでは、「NPO団体の育成と活動支援」「地域活動人材の発掘と育成」を目指し、「団体活動への支援やアドバイス」「団体間連携のコーディネート」「人材の発掘・育成」を3本の柱として、柱1「センター登録団体向け講座」「相談業務」「子ども食堂・フードパントリー団体への食品支援」「情報発信」柱2「意見交流会」「イベント開催」柱3「あだち皆援隊講座」の7つの事業を行っています。

令和4年度のNPO団体運営は、新型コロナウイルス感染症の規制が緩和された下半期から徐々に活発になり、オンライン中心の活動から対面での活動にシフトし始めました。その象徴として、12月に開催された「あだちNPOフェスティバル」では多くの団体が出展・参加し、自団体のPRや他団体同士の交流を図ることができました。

本報告書では、令和4年度にセンターが取り組んだこれらのNPO活動支援事業の概要や実績についてお知らせするとともに、今後のNPO活動支援の方向性をお示しします。

本文中の活動団体等に関する表記について

- NPO法人・・・都道府県及び政令指定都市で「特定非営利活動法人」と認証された団体
- 任意団体・・・法人格を持たない公益活動団体
- その他・・・一般社団法人、社会福祉法人、公益財団法人
- 登録団体・・・足立区NPO活動支援センターに登録している「NPO法人」「任意団体」「その他」

目 次

1	令和4年度の団体登録状況	1
2	区内NPO支援の柱ごとの事業実績等	
(1)	柱1「団体活動への支援やアドバイス」	2
(2)	柱2「団体間連携のコーディネート」	8
(3)	柱3「人材の発掘・育成」	13
3	まとめ	
(1)	コロナ禍におけるNPO活動の変容	14
(2)	NPO活動支援の今後の方向性	15
(3)	NPO活動支援評価調書の分析	17

資 料 編

1	NPO活動支援センター登録団体および施設利用について	19
2	NPO法人認証の推移	23
3	足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野	25
4	NPO活動支援センター登録団体一覧	26
5	NPO活動支援センター令和4年度実績一覧	40

NPO活動支援センター 事業体系図

NPO活動支援センター

柱1 団体活動への支援やアドバイス

ア センター登録団体向け講座

掲載：2ページ 資料編：40ページ

イ 相談業務

掲載：3ページ 資料編：42ページ

ウ 子ども食堂・フードパントリー団体への食品支援

掲載：5ページ 資料編：43ページ

エ 情報発信

掲載：6ページ

柱2 団体間連携のコーディネート

ア 意見交流会

掲載：8ページ 資料編：45ページ

イ イベント開催

掲載：9ページ

柱3 人材の発掘・育成

ア あだち皆援隊講座

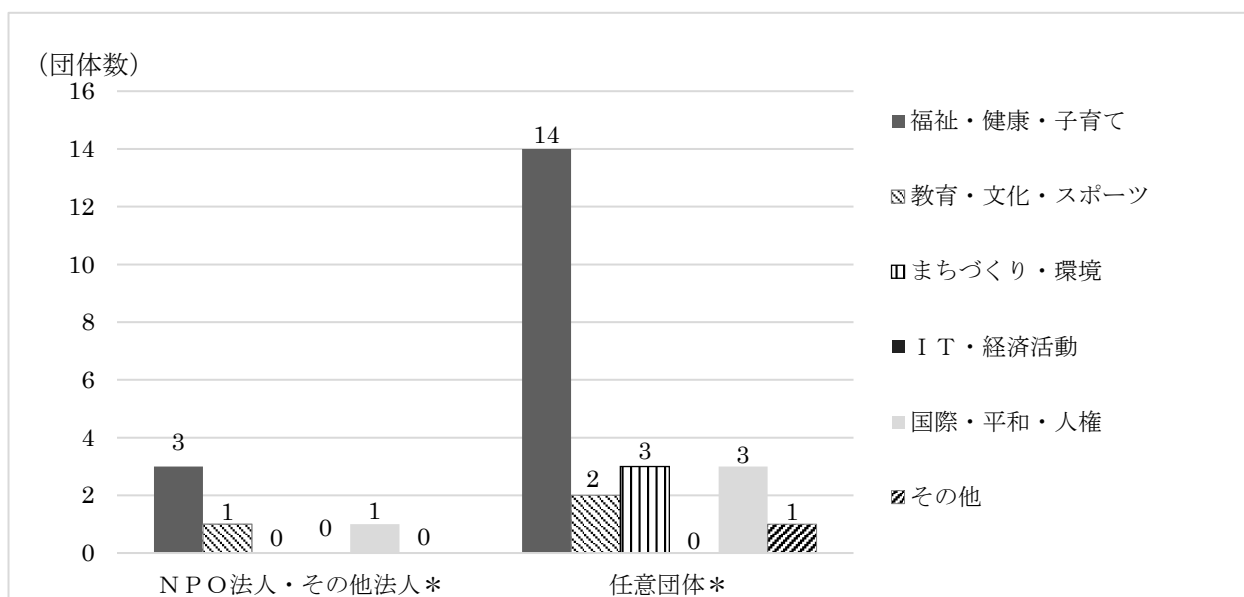
掲載：13ページ 資料編：46ページ

1 令和4年度の団体登録状況

令和4年度の登録団体総数は215団体、うち新規団体は28団体だった。

新規団体の内訳は、コロナ禍で急速に広まりを見せた子ども食堂やフードパントリーの活動団体が7団体増加したことで、「福祉・健康・子育て」分野が17団体と最も多くなっている。また、分野別で2番目に多い「国際・平和・人権」では、女性の地位向上や外国人労働者への支援を目的に活動する団体が多く、ワークショップや相談会の開催を通じて、社会的に孤立してしまい、生きづらさを抱える方を対象に継続的な支援を行っている。

【令和4年度新規登録28団体の分野別内訳】



全登録団体の分野別内訳は資料編20ページに掲載

*その他法人：一般社団法人、社会福祉法人、公益財団法人

*任意団体：法人格を持たない公益活動団体

2 柱ごとの事業実績等

(1) 柱1「団体活動への支援やアドバイス」

ア センター登録団体向け講座 【資料編40ページ参照】

(ア) 取り組みの状況

センター登録団体向け講座は、運営・助成金獲得・広報等、団体運営のサポートを目的として実施している。

令和4年度は「IT支援」「広報」「運営マネジメント」に分類し、運営の強化と活動の継続化を図る目的で16種類、合計38回の講座を開催した。新型コロナウイルスの影響もあり、対面とZ o o mのハイブリッドでの開催が主になっている。

(イ) 取り組みの成果

- ① チラシやHPの作成等、広報関係の講座への参加者が多く、パソコンやスマートフォンの操作が苦手な中高年層に対してマンツーマンで丁寧に対応し、講座後のフォローアップも実施したことから、参加者アンケートでは高い満足度を得ることができた。
- ② Z o o mやSNSの活用ニーズが高まっていたことを受け、それぞれの活用講座を昨年度に引き続き実施したことで、講座や交流会のオンライン参加者数の増加、センターのSNS情報発信の団体連携につながった。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 団体活動に必要な資金の調達に悩む団体への支援が必要である。	① 助成金や寄附勧奨など資金獲得に向けた講座を引き続き実施していく。
	② 講座受講後の個別の相談対応等を実施するなど丁寧な支援を行っていく。
② 講座により申込者数に大きな差が見られたため、団体のニーズに合わせた講座内容に課題が残った。	① 会場以外でも参加しやすいよう、オンラインでの講座配信も継続して行う。
	② 講座終了後に実施するアンケートで団体のニーズを把握し、講座内容を組み立てていく。

イ 相談業務 【資料編 4 2 ページ参照】

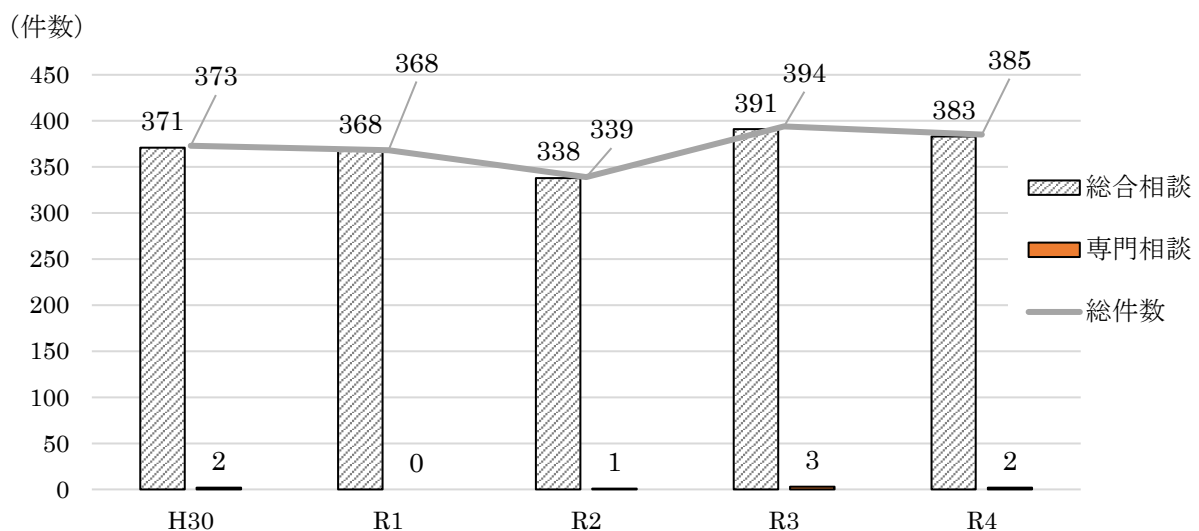
(ア) 取り組みの状況

センターでは、登録団体および「NPO活動を始めてみたい」という思いを持った区民からの相談を随時受け付けている。令和4年度は、皆援隊講座後に相談時間を設け、団体設立やNPO団体とのマッチングを行った。

総合相談と専門相談の2部門を設け、団体や区民の方からの様々な相談に応じている。登録団体からの相談は主に助成金申請や他団体・他機関との紹介マッチング、定款改正や広報など団体運営関連が多く、登録団体以外からの相談は、主にNPO法人・任意団体設立やNPO団体の紹介などである。

総合相談	NPO法人の活動及び団体の事業運営等についてのノウハウを持つ相談スタッフが対応する。
専門相談	会計・税務、人事・労務、経営など専門性の高い相談に対し、税理士等の専門の資格を有する士業への案内や紹介を行う。

【相談件数の推移】



年度	総合相談	専門相談	総件数
H30	371	2	373
R1	368	0	368
R2	338	1	339
R3	391	3	394
R4	383	2	385

(イ) 取り組みの成果

- ① 大学等の機関や団体間のマッチングを図ったことで、げんき応援事業助成金の「協働・協創推進コース」事業の実現やNPO啓発イベント「あだちNPOフェスティバル」での文教大学生のボランティア参加等をはじめとした、新たな連携が生まれ、協創の動きが広がった。
- ② 電話やメール、Z o o mを用いたオンラインでの相談体制を昨年度に引き続き展開したことで、団体にとって相談しやすい体制をとることができた。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 活動場所へのアウトリーチ相談が十分に実施できなかった。	① 団体の要望や状況に応じて対面とオンラインを使い分け、細やかな相談業務を実施していく。
	② げんき応援事業助成金の事業実施時の視察等、あらゆる機会をとらえてアウトリーチ相談を拡大し、団体の活動状況と要望に応じた相談業務を展開していく。
② 資金調達関係の相談後、具体的な支援が十分に実施できなかった。	① 国や民間の助成金情報の周知や資金調達の団体支援講座を実施し、団体活動の資金獲得を促しながら、団体の自走に向けた伴走支援を行っていく。

ウ 子ども食堂、フードパントリー団体への食品・物品支援【資料編43ページ参照】**(ア) 取り組みの状況**

センターでは、区民の方や企業等から提供を受けた物品・食品の一時保管、配付を希望する登録団体へのマッチング、受け渡しを行っている。主に子ども食堂など、食の提供事業を行う団体へ提供し、多くの登録団体が活用している。

令和4年度にはI K E A新三郷店をはじめ、8つの新規事業者を新たに開拓した。

(イ) 取り組みの成果

- ① 30もの食品・物品提供企業にご協力いただいたことで、延べ393団体もの子ども食堂やフードパントリー関連団体に食品を提供することで、一人親世帯や経済的困窮世帯等、延べ38,532人に配布することができた。
- ② 企業から、大きさが不揃いなため売り物として適さないとされた食品や消費期限が短い食品を約54,700個、約13トン受贈し、延べ393団体に配布することで食品ロスの削減につなげることができた。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 食品提供の数量増加や多様化が進んだことで、保管設備や配送手段の確保が課題となっている。	① 広い倉庫や置き場を確保している民間企業や社会福祉協議会と引き続き連携し、食材の一時保管場所確保に務める。
② 提供物品を有効に活用するため、活動団体同士の情報共有と連携を強化していく必要がある。	① 企業や団体間のマッチングを進めるため、子ども食堂、フードパントリーなど食を支援する活動団体が連携を深める場として「子ども食堂・フードパントリー交流会」を年4回を目標に開催し、各団体のフードパントリー配布基準を共有する等、共通のルール作りを進めていく。
③ 食材の受け取り団体が増え、1団体当たりの配布量が昨年度よりも減少している。	① S D G sを推進する企業等と連携してフードドライブに取り組んでいく。 ② N P O団体へ、区の災害備蓄品（生理用品・おむつ・アルファ米・水など）をマッチングし、再活用を進める仕組みを構築していく。
④ 複数のパントリーを行き来し、転売や身内への配布目的に受け取る方が見受けられ、配付対象である経済的困窮者や一人親世帯等、本来必要としている方に行き届いていない。	① 誓約書記入のお願いや注意喚起等、受給者に対して転売禁止のルールを団体間で共有し、全体で防止を図っていく。

エ 情報発信

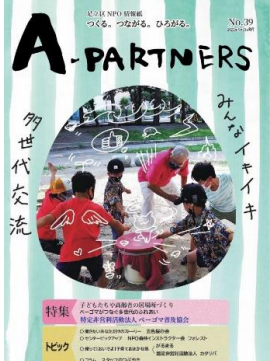
(ア) 取り組みの状況

① A-PARTNERS

「A-PARTNERS」は、平成22年度に区内NPOの認知度向上を目的として創刊した情報紙である。「NPOをより身近に感じることができる情報紙」をコンセプトに、登録団体の「NPOの協働・協創の動き」として、既存の登録団体の情報を深く掘り下げるとともに、新規登録団体などの情報も掲載した。

最新号は足立区公式ホームページ、バックナンバーはあだち協働パートナーサイトで閲覧できる。また、図書館や住区センターなどの区内公共施設のほか、区内駅スタンド、NPO活動支援センター近隣小学校、スーパー、飲食店等、区内全域の設置協力店で配布している。

【A-PARTNERS】

 【No. 38】	 【No. 39】	 【No. 40】	 【No. 41】
特集：すべての人に「世界を旅する」バーチャル体験を	特集：ベーゴマがつなぐ多世代のふれあい	特集：中学生が防災学習会を実施	特集：演劇がもたらす子どもの心の育みと地域活性

【A-PARTNERS 発行部数 6,000部】

号数	発行日	配布先
No. 38	令和4年 6月15日	- 区内公共施設 (図書館、住区センター等) - 区内駅スタンド - 区内小学校 (梅島、梅島第二、亀田、弥生) - 区内設置協力店 (スーパー、飲食店、病院等)
No. 39	令和4年 9月15日	
No. 40	令和4年12月15日	
No. 41	令和5年 3月15日	

② メールマガジンの配信

月1回のペースで新規登録団体の紹介、助成金情報、センター主催事業などを情報発信しており、令和4年度末の登録者数は721人。

③ SNSを活用した情報発信

Twitter や Facebook を活用し、登録団体のイベント情報や活動報告、センター主催の講座情報などを発信している。

④ あだち協働パートナーサイト ≪URL : <http://adachi-kyodo.genki365.net/>≫

あだち協働パートナーサイトは、区内のNPO法人・任意団体など公益活動団体の紹介及び活動内容についての情報発信ツールである。

げんき応援事業助成金採択事業の活動報告の掲載が必須となっているため、操作方法のレクチャーやページ作成のサポートを行っている。主な活用方法は以下の通りで、サイトを活用し区民に情報提供を行い、協創の推進を図っている。

【活用方法】

- a 協働に関する区からの情報や助成事業紹介
- b NPO活動支援センターの事業案内
- c その他団体の事業・イベント紹介

【あだち協働パートナーサイト利用団体（ID付与）数】

年 度	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
ID付与数	1 2 1	1 2 1	1 2 1	1 3 4	1 5 8

(平成 22 年 7 月サービス開始)

(イ) 取り組みの成果

- ① 「A-PARTNERS」の配架先の新規開拓を飲食店やスーパーを中心に図り、9店舗増等、設置店舗の拡大を図った。
- ② あだち協働パートナーサイトへのげんき応援事業助成金採択事業の活動報告を必須としたため、サイト利用団体数が増加し、助成金採択事業以外の団体活動の掲載も微増している。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① センターについて、NPOに関わりがない区民への認知度が低い。	① 区とセンターそれぞれにおいて、SNS発信に力を入れていく。
	② 皆援隊講座やNPOフェスティバルなどのイベントを通し、センターの認知度を高めていく。
② 講座やイベント開催時、ターゲットに合わせた効果的な広報媒体や発信手法を精査していく必要がある。	① 講座、イベント時の参加者アンケートにより、参加のきっかけとなった情報元（チラシ・あだち広報・SNSなど）を分析し、世代別・目的別に、最も情報が届きやすい効果的な発信手法を選定し、重点的に展開していく。

(2) 柱2「団体間連携のコーディネート」

ア 意見交流会 【資料編45ページ参照】

(ア) 取り組みの状況

主に登録団体を対象に、活動上の課題や地域課題の共有、団体間の交流等を目的に実施している。CSR企業などNPO団体以外からの参加もあり、様々な立場からの意見が積極的に交わる場となっている。

令和4年度も前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症と物価高の影響を受け、生活困窮世帯への支援に関心が高まったため、子ども食堂・フードパントリーを実施する団体が増加した。そのため、団体間の情報共有や連携の強化を目的として、「子ども食堂・フードパントリー交流会」を3回開催した。

食の支援団体以外にも子どもたちの支援を環境面から考えることを目的とした「環境交流会」を開催。「環境交流会」では、子ども食堂・フードパントリー団体と環境マイスター、EANAでワークショップを行い、三者間で新たなつながりを創出することができた。

全登録団体を対象にした交流会も1回開催し、年間で計5回の交流会を開催した。

(イ) 取り組みの成果

- ① 「子ども食堂・フードパントリー交流会」では、食材の保管が難しい団体や運搬手段が確保できない団体がいることから、一時保管や受け渡しが可能な団体とのスキームの調整を行うなど、ネットワーク構築の一助とすることができた。
- ② 環境マイスター、EANA等のNPO団体以外を巻き込んだの交流会を初めて実施することができ、新たな連携を生むことができた。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 「子ども食堂・フードパントリー交流会」ではハイブリッド開催のため、オンライン参加者と会場参加者間での交流が難しく、交流機会の創出において課題が残った。	① 今後は原則対面のみでの開催とし、情報提供で終わるのではなく、名刺交換会等、団体間が交流を図れる機会を積極的に提供していく。
② 「子ども食堂・フードパントリー」以外の分野での交流の機会が乏しく、協創が図れていない。	① ネットワークの維持と拡大を図るため、センターが仲介となり、団体同士をつなぐための交流会を継続的に開催していく。 ② 「食の支援団体」以外にも、「IT支援団体」「子ども支援」等、ジャンルをさらに拡大し、多分野において団体同士の交流を図り、協創のきっかけの場を提供していく。

イ イベント開催について

(ア) 取り組みの状況

① あだちNPOフェスティバル

あだちNPOフェスティバルは、NPO団体と区民の交流の場、NPO活動の周知啓発事業として毎年開催しているイベントである。令和4年度は約2年ぶりに対面で開催した。新たな取り組みとして、梅島地域の4つの会場をスタンプラリーでつなぐ周遊型で実施した結果、過去最高の来場者数を記録した。本庁舎開催時よりも、親子連れや若年層、子ども同士の参加が増加した。

運営にあたっては、文教大学の学生ボランティアも参加し、学生とNPO団体との交流も図ることができた。

a 日時

令和4年12月3日(土) 11時～16時

12月4日(日) 10時～16時

b 場所

梅島公園、エル・ソフィア、足立成和信用金庫中央支店、NPO活動支援センター

c 周知方法

あだち広報、区SNS、ポスター掲示、チラシ配布

d 参加団体

NPO団体65団体、CSR出展協賛企業19企業

e 内容

梅島公園 (2日間) 延べ26団体 2企業

駄菓子屋、ベーゴマ体験、子ども駅長制服体験、ラグビー体験など



エルソフィア

ステージ出演 (2日間) 延べ10団体 1企業 司会：木曾さんちゅう

子どもたちのダンス、剣舞、狂言、おやつ教室、ビュー坊撮影会など



2 柱ごとの事業実績等

出展（2日間） 延べ65団体 9企業

工作ワークショップ、手話体験、おもちゃ図書館など



足立成和信用金庫 中央支店

募金コインゲーム 【募金額】 11,289円

水槽にコインを落とし、的の中に入れると景品が当たるゲームを実施。

（募金は協働・協創パートナー基金に充当し、NPO活動支援として活用）



ふるさと納税返礼品事業者販売

両日ともに盛況で、用意した食品は全て売り切れとなった。

12月3日（土） 享屋 生麺329食 スープ305食

12月4日（日） マルマサ製菓 ゴフレット、ようかん巻等 194個



NPO活動支援センター

スタンプラリー大抽選会（4, 159人）

特設コーナー「10年後の自分への手紙」（155通）



f 参加者数

参加人数：12月3日（土）約3,200人、4日（日）約3,100人

スタンプラリー参加人数：12月3日（土）2,104人、4日（日）2,055人

② イベント出展等

NPO活動の周知・啓発を目的として、毎年「千本桜まつり」や「区民まつり」などの区内イベントに登録団体が出展しているが、令和4年度も中止となったため出展等の事業は実施できなかった。

（イ）取り組みの成果

- ① 新たな取り組みとして、会場を梅島地域の4つに分散し、それぞれをスタンプラリーでつなげる回遊型で開催したことで、会場付近の住民の参加創出につながり、区役所本庁舎開催時の倍の来場を達成することができた。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 参加者から「各会場の場所が分かりにくい」との声があった。	① 梅島、梅田地域に普段足を運ばない方でも分かるように、チラシやポスター、リーフレットに簡略化した地図を載せ、当日も地図を拡大した看板を各会場付近に設置する。
② ボランティアスタッフへの事前説明が不十分で、当日の仕事内容が十分に伝達できていなかった。	② ボランティアの募集時期を早め、開催当日までに複数回説明会を実施する。
③ 会場内の動線が確保できず、会場レイアウトに課題が残った。	③ 混雑緩和のため各会場内で動線を設け、高齢者や子連れの方でも回りやすい工夫と配慮を施す。
④ 出展団体から「出展ブースでの来場者対応で忙しく、団体間での交流ができなかった」との声が挙がり、開催目的の一つである団体同士での交流機会創出に課題が残った。	④ 開催に向けた事前ワークショップ等を実施し、開催前から団体間の交流機会創出の場を設けていく。
⑤ 「あだちNPOフェスティバル」に参加したきっかけとしては、「家族・知人からの紹介」が約3割を占め、参加者アンケートからも「知人に聞くまでイベントのことを知らなかった」、「イベントを知る機会をもっと増やしてほしい」という声が多く挙がった。	⑤ 「あだちNPOフェスティバル」の周知について、SNSの積極的な活用やチラシ、ポスターの配架場所の検討などPR方法を改善していく。

(3) 柱3「人材の発掘・育成」

ア あだち皆援隊講座について 【資料編46ページ参照】

(ア) 取り組みの状況

「あだち皆援隊講座」は受講生が地域活動に参加する契機となる内容で企画している。令和4年度の参加者数は360名で、うち155名以上が講座受講修了後に、既存のNPO法人やボランティア団体等への参加や、新たに団体を設立するなど、地域活動の担い手となっている。

(イ) 取り組みの成果

- ① 「外国にルーツを持つ子どもたちの支援」講座では、会場、オンラインともに30名を超える方が参加した。講座の様子はNHKで報道されたほか、東京新聞にも掲載され、区内NPO団体の外国にルーツを持つ子どもたちへの支援活動を多くの方に知ってもらう機会となった。
- ② 「足立の魅力を動画で発信！ 動画作成講座」（4回連続講座）では、動画の撮り方や構成など、実践形式で様々なことを学べたと参加者の満足度が高かった。参加者の中には、報道広報課主催の「あだちワンダフルグランプリ」に講座内で作成した作品を応募する人も見られた。

(ウ) 見えてきた課題	(エ) 事業改善の方向性
① 年間を通して、定員に対する申し込み者数が少なく、企画組み立てと周知に課題が残った。	① 子ども食堂の開設やボランティアの相談が多いため、子ども食堂のスタッフ体験ができる講座等、区民の関心が高いテーマを取り上げ企画していく。講座後のアンケートを分析し、効果的な周知方法を検討していく。
② 基調講演と団体の活動紹介の2部制で実施した講座では、タイムスケジュール通り進まなかったことで、講義の時間が長引き、「団体の活動内容が十分に聞けなかった」「もう少し団体との交流の機会が欲しい」などの声が聞かれた。	② 講座前半に講師講演、講座後半にNPO団体のパネルディスカッション等の流れで実施すると、前半が押してしまい、後半が駆け足になってしまうことがあるため、タイムスケジュールや講座の進め方を見直していく。

3 まとめ

(1) ウィズコロナ下でのNPO活動

令和4年度のNPO団体の運営は、コロナ禍の影響を受けつつも、感染症対策を講じながら活動を再開する団体が多く見受けられた。

一方、コロナ禍により収入が減少し経済的に困窮する世帯に対する支援や、高齢者の居場所づくりや支援、女性の就労支援を始める団体が増えるなど、NPOの活動領域に広がりが見られた。また、2年ぶりに対面で開催した「あだちNPOフェスティバル」をきっかけに、希薄になっていた団体間のつながりが再構築された。

ア 生活困窮世帯への支援

令和4年度もコロナ禍の影響を受けるひとり親世帯や児童手当受給世帯などの生活困窮世帯にお弁当や食材などを配布する「フードパントリー事業」や「子ども食堂」が継続して実施された。それぞれ20程の団体が活動し、生活全般の相談や必要な支援機関につなぐ役割なども果たしている。このような活動は、食材などの提供に留まらず、身近な相談場所としての機能もさらに重要となっている。

食品以外の化粧品や生理用品等、日用品の寄附も増え、子ども食堂やフードパントリーを通じて必要としている困窮世帯へ配布された。

イ ICTを活用したNPO活動

昨年度に引き続き対面実施する事業に制限があったものの、イベントなどのYouTubeによるオンライン配信やZoomによる相談などのICTを活用した事業が進み、オンライン併用の事業の定着が図られ、利便性の向上による新たな広がりやつながりをつくることができた。

また、ICTに不慣れな層の多いNPO団体から、SNSやFacebookの活用に関する団体支援講座への参加希望も根強くあり、事業の発信方法について転換が進んでいる。

ウ 活動人材の確保

活動者の高齢化が進み、かつコロナ禍での活動が制限されている状況は変わらない。一方、子ども食堂やフードパントリー、弁当配布事業などは需要も多く、大学生・高校生などの学生ボランティアの協力が進んでいる。今後も、食の支援事業で必要とされている配送ボランティアや団体の活動を支える若年層の活動人材の発掘をさらに進めていく必要がある。

(2) NPO活動支援の今後の方向性

センターは、令和9年度に図書館・子育てサロンと合築した複合施設として、梅田八丁目アパート建替えに伴う創出用地に移転する予定である。今後は複合施設として、それぞれが特徴ある事業を展開するとともに、3つの施設の連携による更なる相乗効果を上げることが求められている。

そのため、NPO・区民・地域団体・企業・大学など多様なつながり、連携を強化することで、協働・協創を促進していくための団体活動の拠点となる施設を目指していくとともに、センターに登録されているNPO活動団体を中心とし、地域活動人材の育成を通じた社会的課題の解決を図っていく。

また、団体運営の支援や団体間連携のコーディネート、人材の発掘・育成など、活動支援の3本柱について、支援効果を検証するとともに、各種団体や区民等の意向把握を行いながら事業を推進していく。

ア 柱1「団体活動への支援やアドバイス」について

(ア) センター登録団体向け講座

今年度は、団体活動の運営面の強化と活動の継続化を図ることを目標に、「IT」「広報」「団体運営」に関する講座に注力した。アンケートで要望の多かった「ホームページ作成講座」を新規に実施し、毎回ほぼ定員に達するなど一定の成果があった。昨年度に引き続きSNSの活用や動画・チラシの作成講座も継続実施しており、ホームページ作成講座同様、団体活動の発信に対する支援を行った。

今後も、ニーズのある「IT」分野での講座を中心に、「広報」分野と併せて特に活動の情報発信を苦手とする団体や新規団体への支援を図っていく。

また、資金調達に課題を抱えている団体が多いことから、資金調達関係の講座も実施し、行政や民間の助成金に依存せず、自立した活動に向けて相談業務と併せて支援を講じていく。

(イ) 相談業務

今年度は、登録団体へのアウトリーチだけでなく、区内外の公共施設や社会福祉協議会へも積極的にアプローチを行い、新規団体や区民の発掘と合わせて、皆援隊講座やNPOフェスティバルでの連携等、団体支援の基盤づくりを展開した。

公益活動げんき応援事業助成金申請について、令和3年度からNPO活動支援センターへの事前相談を必須としているが、コロナ禍においても活動を行う団体が多く現れたこともあり、令和4年度は相談件数が増加した。今後も事業計画や収支予算書の作成支援により、NPO活動を財政面から支援していく。

(ウ) 子ども食堂・フードパントリー団体への食品提供

センターでは、「食の支援」を支えるため、企業や区民から寄贈を受けた食材をNPO団体へ配布する役割を担っている。令和4年度は、団体から支援要望が多い米の受入れについて、企業から大口の寄贈もあり、多数の配布により困窮世帯への支援に寄与することができた。また、定期的に食材を寄贈してくれる企業が増え、安定した

食材の支援が可能となったことで配布人数が拡大した。団体が支援した延べ人数が令和3年度は14,977人に対し、令和4年度は38,532人と格段に増加した。

今後も、限られた保管スペースを有効活用し、フードバンク機能としての役割を担い、団体への食材提供を通じて、困窮世帯や子どもの貧困対策への一助となるよう支援していく。

(エ) 情報発信

協働パートナーサイト、センターのSNSを活用した情報発信に加え、NPOフェスティバルにおいて、普段NPOに関わりの薄い区民へのアプローチなどにより、各団体の事業周知を図り、NPOに興味を持つ区民へのアプローチとしては、NPO情報紙「A-PARTNERS」等を通じて情報発信し、地域活動の普及・啓発を進めていく。また、NPOの活動情報をボランティアセンターや地域包括支援センター、区内大学などと共有することで、NPO団体を中心とした地域公益活動のネットワークを拡大していく。

イ 柱2「団体間連携のコーディネート」について

(ア) 意見交流会・イベント開催

子ども食堂やフードパントリーが情報を共有するための交流会を開催した。今後もセンターがハブとなり、各団体が持つ倉庫や寄贈品、物流などのリソースを団体同士で共有し、活動を拡大するための連携強化を交流会や団体からの意見聴取を通して進めていく。

NPOフェスティバルでは、梅島・梅田地域の4つに会場を分散し、それぞれをスタンプラリーでつなげる周遊型で行ったことで団体関係者以外の普段NPOに関わりがない一般区民の参加を促すことができた。

開催後のアンケートでは、「区民や他団体と交流できて良かった」との声が多く、対面での開催を望まれていた団体が多かった分、満足度は高かった。

しかし、会場のレイアウト等で周りにくい、分かりにくい等の意見も散見されたため、令和5年度はアンケート結果を踏まえ、会場の配置や動線づくりなどレイアウトについて団体と協議していく。

ウ 柱3「人材の発掘・育成」について

(ア) あだち皆援隊講座

地域活動人材を発掘・育成するため、地域活動参加の契機となるNPO活動を体験するワークショップや、NPO活動を実践するためのスキルを学ぶ講座などを開催していく。

また、NPO活動の活性化を図るため、ボランティアセンターや区内大学と連携し大学生や高校生の地域活動人材の発掘とマッチングを進めることで、若年世代の活動者を増やしていく。

(3) NPO活動支援評価調書[※]の分析

※ 各支援における活動指標、成果指標の達成状況を表したもの P18-1 参照

ア 【1 団体活動の継続・発展支援】

(ア)「(1) 登録団体向け講座」

団体運営・助成金、広報関連、ICT支援の3分野ともに概ね目標値を達成した。今後は、ホームページ作成やSNS発信、Zoom活用などのICT支援講座のほかに、資金繰りの相談が以前より多数寄せられていることから、資金調達のための団体支援講座を開催していく。

(イ)「(2) 相談業務」

団体運営などの総合相談、専門相談ともに目標値には届かなかった。今後は、些細な事でも相談しやすい体制を整備し、皆援隊講座や交流会の前後を中心に団体や区民からの声を拾っていく。また、センター職員のスキルアップ研修の実施や相談事例の共有、活動相談後の丁寧なフォローアップを図ることで、満足度と解決率の向上も併せて図っていく。

(ウ)「(3) 意見交流会」

令和4年度は、「NPO交流会」「子ども食堂・フードパントリー交流会」「環境交流会」を開催し、プラットフォームの数について目標値を達成することができた。今後もこれらの交流会を継続して開催するとともに、「若年者支援」などの分野の交流会も開催し、団体間の連携を促進していく。

イ 【2 新規活動人材・団体の発掘・育成支援】

(ア) 皆援隊講座

区民のNPO活動参加への契機とするための皆援隊講座は、満足度や参加率は目標を達成したが、地域活動参加に結び付いた人数は目標に達しなかった。今後は、子ども食堂体験などのより実践的な講座メニューを検討するとともに、講座受講後のNPO団体へのマッチングを丁寧に進めていくことで、地域活動の参加に結び付けていく。

(イ) イベント開催・出展

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「千本桜まつり」や「区民まつり」が中止となり、区主催の出展イベントへの参加回数や人数は昨年度に引き続き未達成となった。

センター主催の「あだちNPOフェスティバル」は対面で開催することができ、初の試みで4会場周遊型で実施したため参加人数の数値目標を2倍ほど上回ることができた。

ウ 【3 情報発信】

登録団体の活動やセンターの講座・イベント情報をSNSや協働パートナーサイトを活用して発信してきたが、SNSにおいては継続的な投稿ができず、目標に届かなかった。今後は、より一層発信に努め、イベント時にはタイムリーな投稿を心掛けていき、発信数の増加を図っていく。

エ 【4 食材支援】

生活困窮世帯への支援として、子ども食堂やフードパントリー事業がコロナ禍を機に社会的に広く認知されたことから、令和3年度に引き続き多くの企業や区民から食材の寄附をいただくことができた。食材提供企業数はおおむね前年度と同じだが、1企業当たりの提供数がお米を中心に増え、個数・重さともに目標値を大きく上回った。提供数の増加を受け、団体が支援した人数も急増している。

今後も、食材提供企業の新規開拓や団体間で食材や配送を共有するための交流会などを開催し、団体活動に必要な食材支援を進めていく。

1 団体活動の継続・発展支援

(1) 登録団体向け講座

①活動指標 (講座内登録)	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
団体運営・助成金 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	5	50	5	60
	実績	4	42	20	65
	達成率	80.0%	84.0%	400.0%	130.0%
広報関連 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	2	20	2	30
	実績	1	9	3	22
	達成率	50.0%	45.0%	150.0%	73.3%
ICT支援 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	5	50	5	50
	実績	4	32	61	3
	達成率	80.0%	64.0%	400.0%	122.0%

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
満足度(4段階平均) ・ 参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率
	目標	3.5	75.0%	4	75.0%
	実績	3.5	65.0%	4	33.8%
	達成率	100.0%	86.7%	101.4%	45.1%
満足度(4段階平均) ・ 参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率
	目標	3.5	75.0%	4	75.0%
	実績	3.6	60.0%	4	12.0%
	達成率	102.9%	80.0%	101.7%	16.0%
満足度(4段階平均) ・ 参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率
	目標	3.5	75.0%	4	75.0%
	実績	3.8	50.0%	3	152.5%
	達成率	108.6%	66.7%	95.8%	203.3%

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
3年以上活動を継続している団体の割合	項目	割合	割合	割合	
	目標	80.0%	83.0%	85.0%	
	実績	78.9%	86.0%	75.4%	
	達成率	98.6%	103.6%	88.7%	
団体の情報発信回数	項目	発信回数	発信回数	発信回数	
	目標	-	1,500	3,000	
	実績	-	3,167	6,732	
	達成率	-	211.1%	224.4%	
団体のICT活用率	項目	活用率	活用率	活用率	
	目標	-	70.0%	80.0%	
	実績	-	83.0%	80.7%	
	達成率	-	118.6%	100.9%	

(2) 相談業務

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
総合相談 ・ 件数 (団体設立・団体運営等)	項目	総合相談件数	総合相談件数	総合相談件数	
	目標	350	380	400	
	実績	338	391	383	
	達成率	96.6%	102.9%	95.8%	
専門相談 ・ 件数 (視覚士・壮士・中小企業診断士)	項目	専門相談件数	専門相談件数	専門相談件数	
	目標	1	2	3	
	実績	1	3	2	
	達成率	100.0%	150.0%	66.7%	

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
満足度 (参考値・解決率)	項目	満足度	解決率	満足度	解決率
	目標	-	4	75.0%	3.6
	実績	-	3	77.7%	3.45
	達成率	-	75.0%	103.6%	95.8%
満足度 (参考値・解決率)	項目	満足度	解決率	満足度	解決率
	目標	-	4	75.0%	3.6
	実績	-	3	77.7%	3.45
	達成率	-	75.0%	103.6%	95.8%

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
3年以上活動を継続している団体の割合(再掲)	項目	割合	割合	割合	
	目標	80.0%	83.0%	85.0%	
	実績	78.9%	86.0%	75.4%	
	達成率	98.6%	103.6%	88.7%	
新規団体設立数	項目	団体設立数	団体設立数	団体設立数	
	目標	30	30	30	
	実績	34	31	23	
	達成率	113.3%	103.3%	76.7%	

(3) 意見交流会

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
意見交流会 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	6	60	8	100
	実績	5	67	6	92
	達成率	83.3%	111.7%	75.0%	92.0%

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
プラットフォームの数	項目	プラットフォーム数	プラットフォーム数	プラットフォーム数	
	目標	3	2	3	
	実績	1	2	3	
	達成率	33.3%	66.7%	100.0%	

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
マッチングできた団体数(再掲)	項目	団体数	団体数	団体数	
	目標	50	60	70	
	実績	46	73	73	
	達成率	92.0%	121.7%	104.3%	

※ 年間方針に基づき交流会の内容を調整する

2 新規活動人材・団体の発掘・育成支援

【支援型講座】

①活動指標 (講座内登録)	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
人材発掘・育成 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	6	200	6	220
	実績	9	217	9	281
	達成率	150.0%	108.5%	150.0%	128.2%
NPO活動普及 ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	6	200	6	210
	実績	6	104	3	63
	達成率	100.0%	52.0%	50.0%	30.0%

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
満足度 (参考値・参加率)	項目	満足度	参加率	満足度	参加率
	目標	3.5	75.0%	3.5	75.0%
	実績	3.6	76.0%	3.55	108.5%
	達成率	102.9%	101.3%	98.6%	144.7%
満足度 (参考値・参加率)	項目	満足度	参加率	満足度	参加率
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%
	実績	3.9	88.0%	3.72	75.7%
	達成率	111.4%	117.3%	103.2%	100.9%

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
地域活動の参加に結び付いた人数	項目	人数	人数	人数	
	目標	200	220	220	
	実績	166	150	155	
	達成率	83.0%	68.2%	70.5%	

【イベント開催・出展】

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
主催イベント (NPOフェスティバル等) ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	2	3000	2	3000
	実績	1	228	1	644
	達成率	50.0%	76.0%	50.0%	21.5%
出展イベント (マーフェスタ等) ・ 開催回数 ・ 参加人数	項目	回数	人数	回数	人数
	目標	2	1,000	2	1,000
	実績	0	0	0	0
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
満足度(4段階平均) ・ 参加率	項目	満足度	満足度	満足度	
	目標	3.5	75.0%	3.5	75.0%
	実績	2.70	3.44	3.56	
	達成率	77.1%	98.3%	101.7%	

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
地域課題解決に寄与する登録団体数	項目	団体数	団体数	団体数	
	目標	195	200	205	
	実績	191	218	215	
	達成率	97.9%	109.0%	104.9%	

3 情報発信

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
SNS(ツイッター・フェイスブック) ・ 発信件数	項目	SNS発信件数	SNS発信件数	SNS発信件数	
	目標	500	600	700	
	実績	539	694	410	
	達成率	107.8%	115.7%	58.6%	
協賛パートナーサイト ・ 団体登録件数	項目	団体登録件数	団体登録件数	団体登録件数	
	目標	120	130	140	
	実績	121	134	158	
	達成率	100.8%	103.1%	112.9%	

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
閲覧数	項目	閲覧数	閲覧数	閲覧数	
	目標	-	175,000	200,000	
	実績	-	203,140	153,701	
	達成率	-	118.1%	76.9%	
ページビュー数	項目	ページビュー数	ページビュー数	ページビュー数	
	目標	-	120,000	120,000	
	実績	-	123,798	103,355	
	達成率	-	103.2%	86.1%	

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
SNS登録者数(合計)	項目	登録者数	登録者数	登録者数	
	目標	-	500	700	
	実績	-	690	879	
	達成率	-	138.0%	125.6%	
講座・イベント等参加者数(再掲)	項目	参加者数	参加者数	参加者数	
	目標	1,000	1,500	3,000	
	実績	699	1,204	6,609	
	達成率	69.9%	80.3%	220.3%	

4 食料支援

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
提供を受けた食料の量 ・ 重さ(kg) ・ 量(個) (※全て換算)	項目	重さ	重さ	重さ	重さ
	目標	2,000	4,000	2,500	4,500
	実績	2,241	4,478	4,077	12,015
	達成率	112.1%	112.0%	163.1%	267.0%
食品提供企業等の数	項目	提供企業等数	提供企業等数	提供企業等数	
	目標	10	12	15	
	実績	10	30	30	
	達成率	100.0%	250.0%	200.0%	

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
食料を提供した団体数(再掲)	項目	団体数	団体数	団体数	
	目標	120	130	140	
	実績	132	640	393	
	達成率	110.0%	492.3%	280.7%	
子ども食堂・フードバンク ・ 提供企業等数	項目	提供企業等数	提供企業等数	提供企業等数	
	目標	10	12	15	
	実績	10	30	30	
	達成率	100.0%	250.0%	200.0%	

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
団体が支援した人数(再掲)	項目	人数	人数	人数	
	目標	4,000	4,200	15,000	
	実績	4,113	14,977	38,532	
	達成率	102.8%	356.6%	257.0%	

資料編

- 1 NPO活動支援センター登録団体および施設利用について
- 2 NPO法人認証の推移
- 3 足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野（複数選択）
- 4 NPO活動支援センター登録団体一覧（令和4年度末現在）
- 5 NPO活動支援センター令和4年度実績一覧

1 NPO活動支援センター登録団体および施設利用について

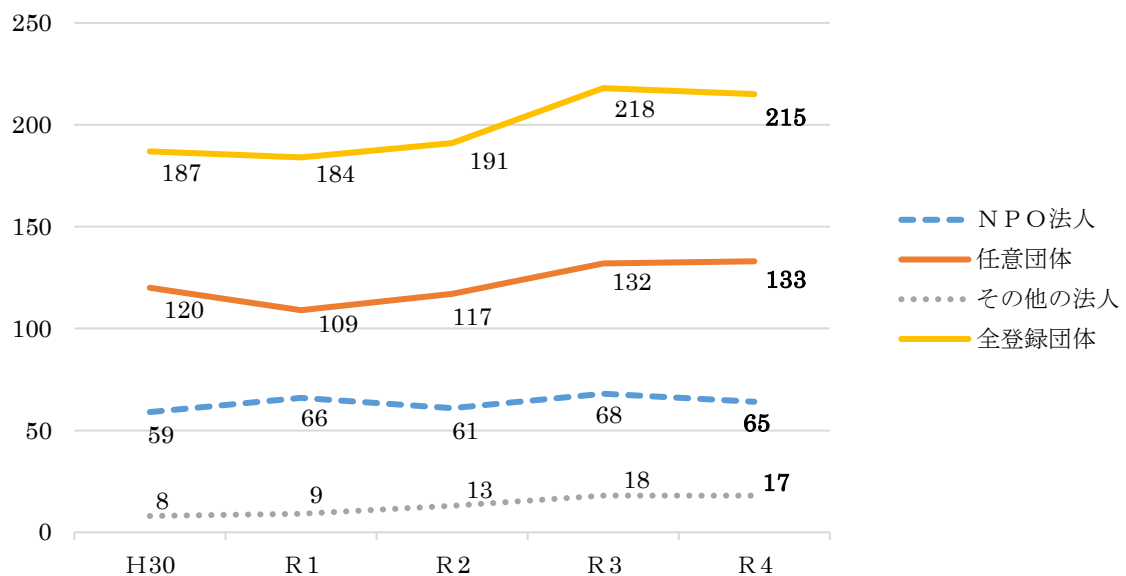
(1) NPO活動支援センター登録団体

センターでは、各団体の活動状況を把握し、その団体に応じた支援を実施するため、団体登録制度を導入している。令和2年度からは、毎年行っていた団体登録申請を2年ごとに変更した。

ア 登録団体数について

令和4年度は、新たに子ども食堂やフードパントリー関連の活動を始める団体が複数いたが、構成メンバーの高齢化に伴う法人解散や登録更新を見送る団体がいたため、全体の登録団体数は微減した。

【登録団体数の推移】

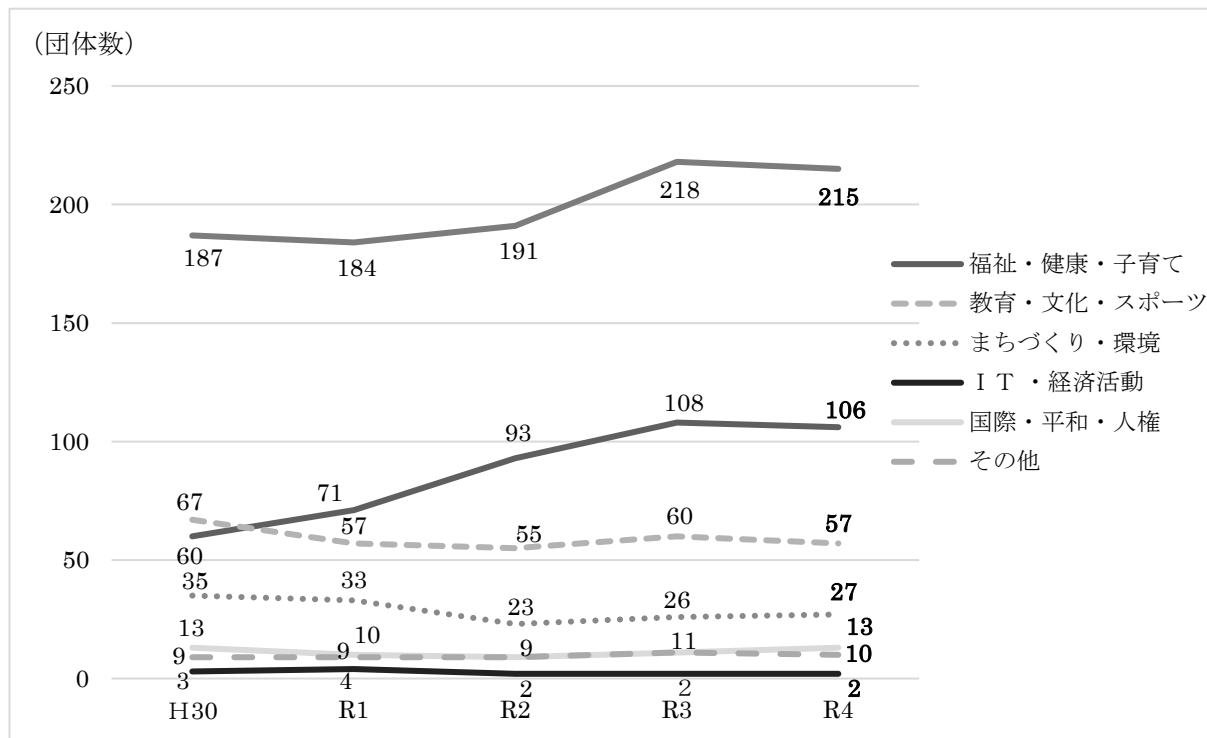


年度	NPO法人	任意団体	その他法人	総計
H30	59	120	8	187
R1	66	109	9	184
R2	61	117	13	191
R3	68	132	18	218
R4	65	133	17	215

イ 登録団体の分野別団体数について

登録団体を主な活動分野別に分類すると「福祉・健康・子育て」「教育・文化・スポーツ」「まちづくり・環境」が上位であり、この３分野の登録団体が全体の約９割を占めている。

【活動分野別の登録団体数の推移】



年度	福祉・健康・子育て	教育・文化・スポーツ	まちづくり・環境	IT・経済活動	国際・平和・人権	その他	総数
H30	60 (32.0%)	67 (35.9%)	35 (18.7%)	3 (1.6%)	13 (6.9%)	9 (4.9%)	187 (100%)
R1	71 (38.6%)	57 (30.9%)	33 (18%)	4 (2.2%)	10 (5.4%)	9 (4.9%)	184 (100%)
R2	93 (48.7%)	55 (28.8%)	23 (12%)	2 (1.1%)	9 (4.7%)	9 (4.7%)	191 (100%)
R3	108 (49.5%)	60 (27.5%)	26 (11.9%)	2 (0.9%)	11 (5.1%)	11 (5.1%)	218 (100%)
R4	106 (49.3%)	57 (26.5%)	27 (12.6%)	2 (0.9%)	13 (6%)	10 (4.7%)	215 (100%)

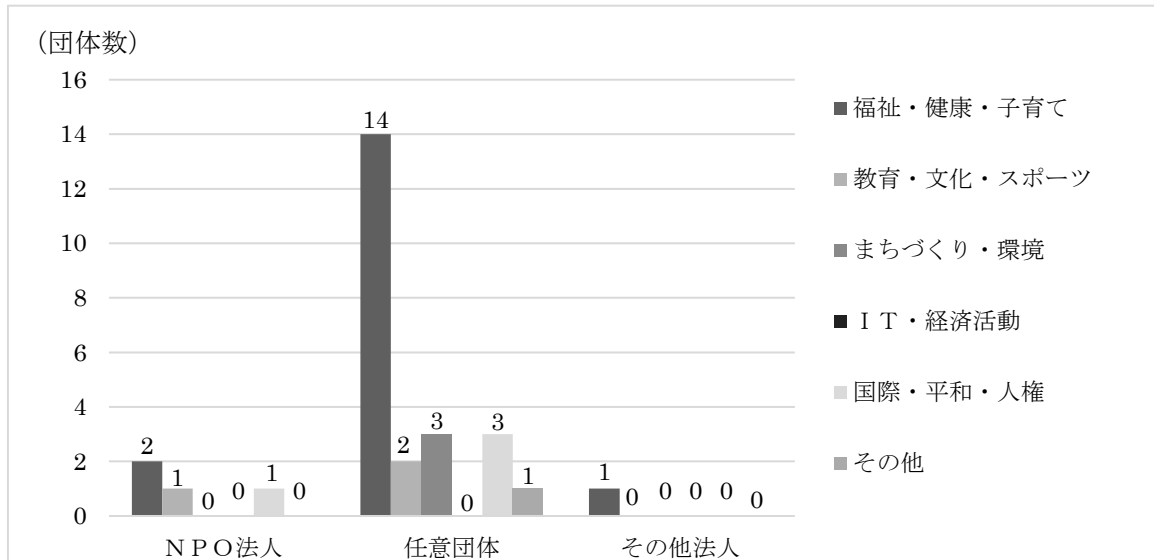
* 上段：活動分野別の登録団体数

下段：登録団体総数における活動分野別の登録団体割合

ウ 新規登録団体の分野別団体数について

令和４年度は新規登録団体が２８団体であり、ＮＰＯ法人が４団体、任意団体が２３団体、その他法人が１団体だった。分野別では「福祉・健康・子育て」が半数以上を占めた。

【令和４年度新規登録２８団体の分野別内訳】



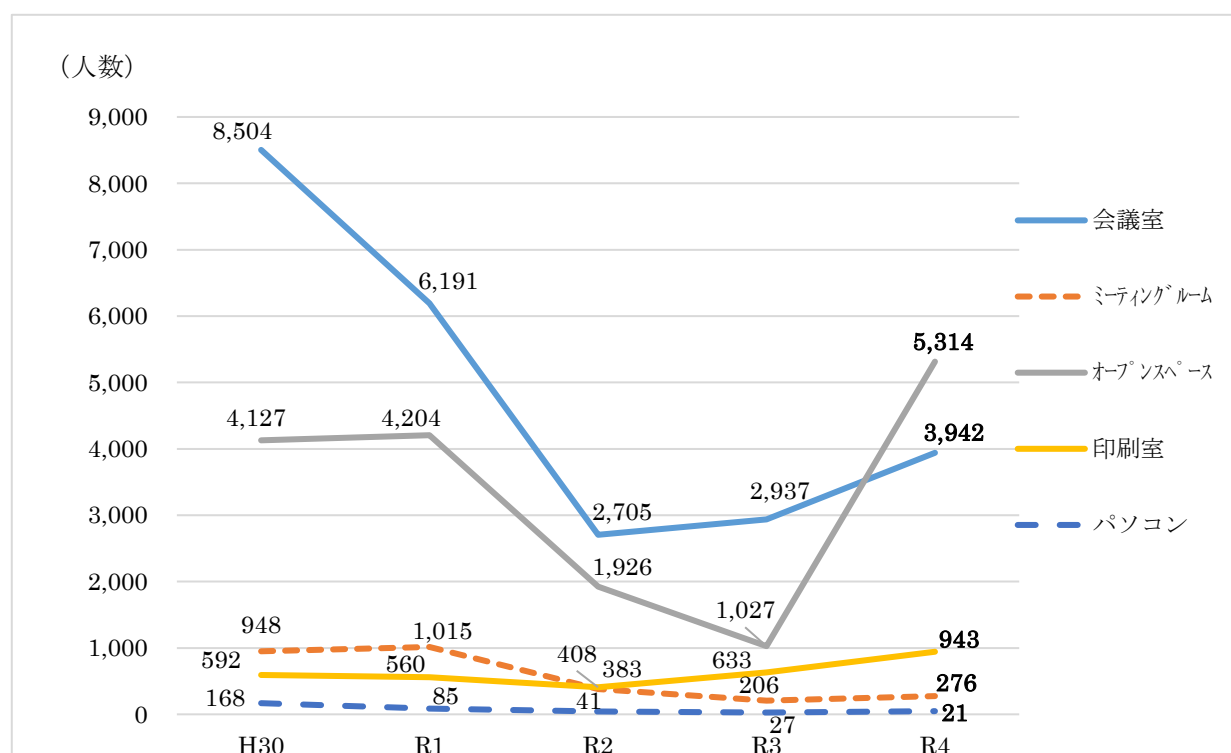
	福祉・健康・子育て	教育・文化・スポーツ	まちづくり・環境	IT・経済活動	国際・平和・人権	その他	総数
NPO法人	2	1	0	0	1	0	4
任意団体	14	2	3	0	3	1	23
その他法人	1	0	0	0	0	0	1
総数	17	3	3	0	4	1	28

（２）施設利用について

センターには、会議室、ミーティングルーム、オープンスペース、印刷室等があり、登録団体の活動・交流の場の提供や講座等の参加の場として利用されている。令和４年度は、年度途中から新型コロナウイルス感染症の規制が緩和したことで、活動が活発化し、団体の運営会議や実施事業のチラシ印刷などで、会議室と印刷室の利用が増加した。また、「あだちＮＰＯフェスティバル２０２２」の抽選会場でもあったことから、オープンスペースの利用者が昨年よりも約４,０００人増え、センター利用者数が大幅に増加した。

【施設設備の利用延人数】

年度	会議室	ミーティングルーム	オープンスペース	印刷室	パソコン	総利用人数
H30	8,504	948	4,127	592	168	14,339
R1	6,191	1,015	4,204	560	85	12,055
R2	2,705	383	1,926	408	41	5,463
R3	2,937	206	1,027	633	27	4,830
R4	3,942	276	5,314	943	21	10,496



２ ＮＰＯ法人認証の推移

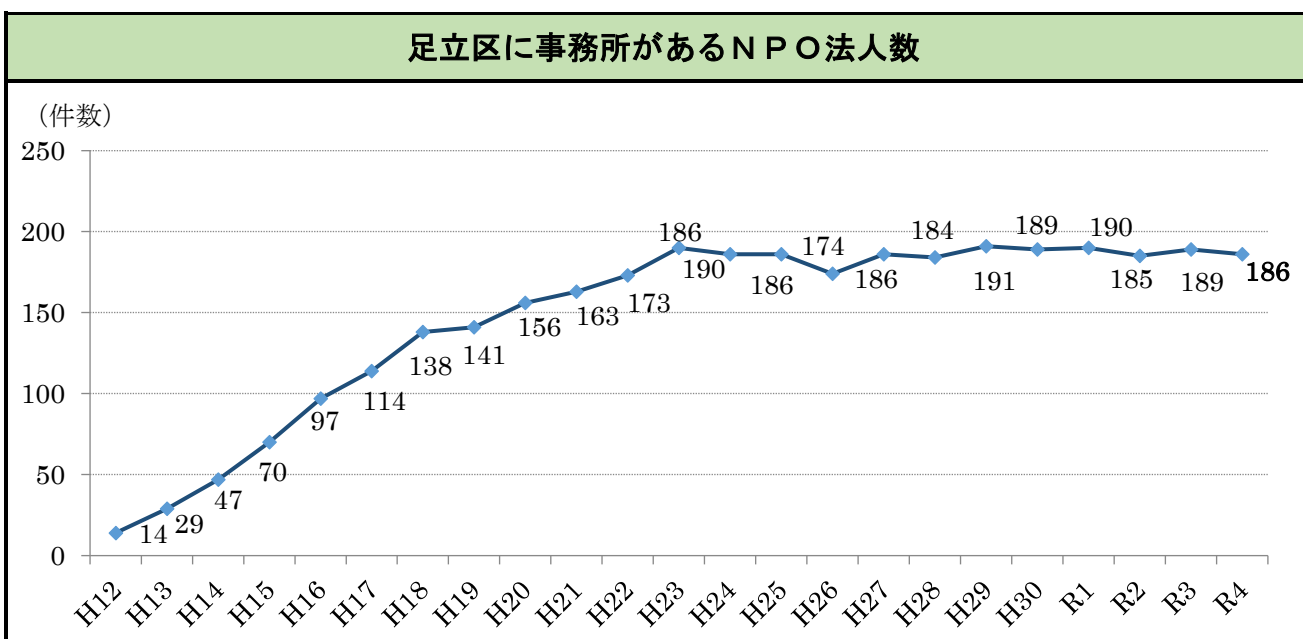
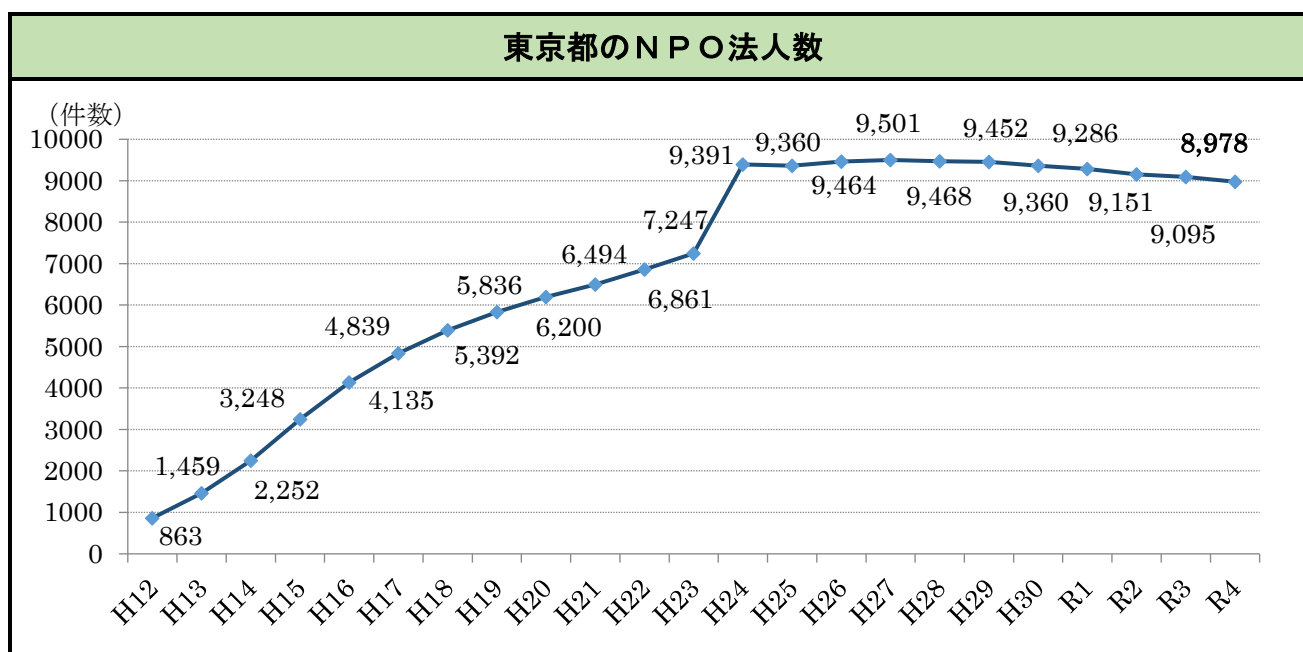
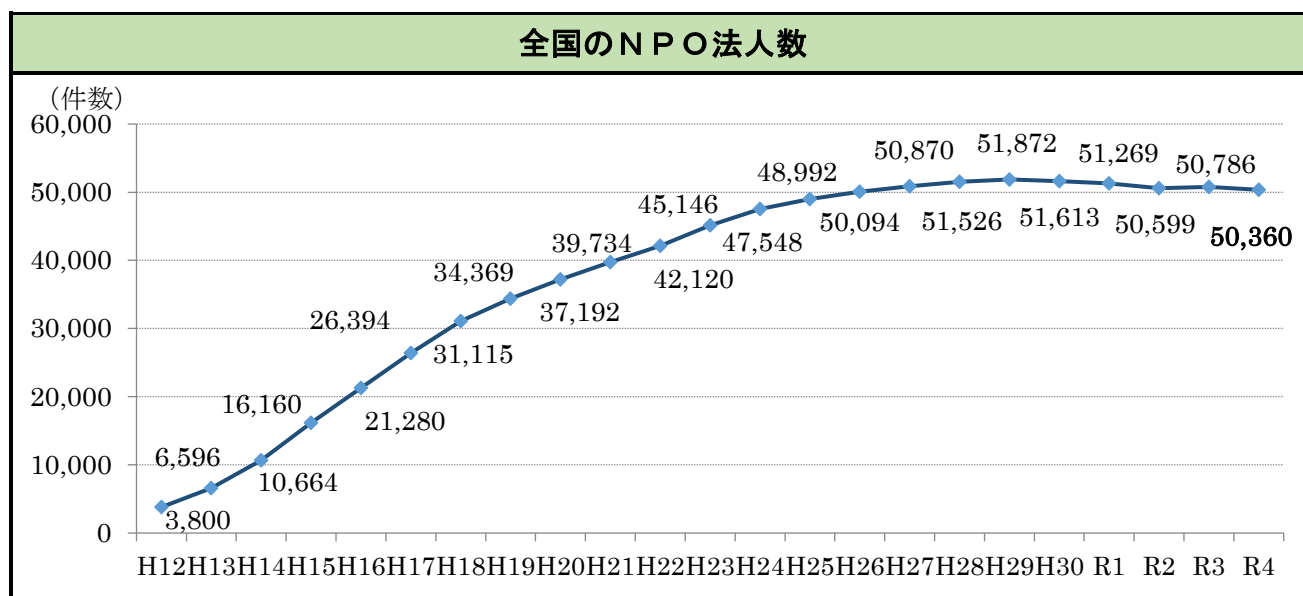
（令和５年３月末現在）

年度	全国法人数	東京都法人数	足立区法人数 （＊１）	主たる事務所が 足立区（＊２）
H12	3,800	863	14	－
H13	6,596	1,459	29	－
H14	10,664	2,252	47	－
H15	16,160	3,248	70	68
H16	21,280	4,135	97	92
H17	26,394	4,839	114	107
H18	31,115	5,392	138	131
H19	34,369	5,836	141	133
H20	37,192	6,200	156	144
H21	39,734	6,494	163	150
H22	42,120	6,861	173	158
H23	45,146	7,247	190	171
H24	47,548	9,391	186	169
H25	48,992	9,360	186	167
H26	50,094	9,464	174	169
H27	50,870	9,501	186	180
H28	51,526	9,468	184	174
H29	51,872	9,452	191	179
H30	51,613	9,360	189	181
R1	51,269	9,286	190	182
R2	50,599	9,151	185	177
R3	50,786	9,095	189	185
R4	50,360	8,978	186	181

（「内閣府ＮＰＯホームページ」、「東京都ＮＰＯ法人情報システム」を元に作成）

＊１・・・「主たる事務所が足立区」および「従たる事務所が足立区」の団体の総数。

＊２・・・「主たる事務所が足立区」の法人数については、平成１５年度より集計を開始した。



3 足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野（複数選択）

（令和5年3月末現在）

	活動分野	法人数
1	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	101
2	社会教育の推進を図る活動	98
3	まちづくりの推進を図る活動	68
4	観光の振興を図る活動	6
5	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	5
6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	58
7	環境の保全を図る活動	40
8	災害救援活動	12
9	地域安全活動	22
10	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	39
11	国際協力の活動	42
12	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	20
13	子どもの健全育成を図る活動	92
14	情報社会の発展を図る活動	20
15	科学技術の振興を図る活動	6
16	経済活動の活性化を図る活動	27
17	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	35
18	消費者の保護を図る活動	11
19	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	107
20	前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	0
区内に事務所を置く NPO 法人数		186

*18～20 の活動分野は、平成24年4月より追加された。

NPO法人の代表者氏名・事務所の所在地・連絡先・近年の事業報告書等について

「内閣府NPOホームページ」及び「東京都NPO法人情報システム」にて確認することができます。

４ ＮＰＯ活動支援センター登録団体一覧（令和４年度末現在）

《掲載順について》

分野別に５０音順で掲載している。

《団体形態の表記について》

法人・・・ＮＰＯ法人 任意・・・任意団体 その他・・・一般社団法人ほか

《具体的な事業内容について》

足立区ＮＰＯ活動支援センターへの団体登録時に団体より提出された「団体シート」の原文を元に記載している。

【分野】福祉・健康・子育て（１０６団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立区竹ノ塚ママとベビー・キッズのコミュニティK o e n	任意	「みんなで育てる」まちづくりの一環として子育て応援活動と地域の居場所づくりを行う。
2	あだち子ども食堂	任意	様々な生きづらさを抱えた子どもたちのための地域の居場所「子ども食堂」の活動を行う。
3	あだち子ども食堂 たべるば	任意	地域の大人たちが子どもたちに食事を提供し、食育や子どもの自己肯定感を高める活動を行う。
4	足立子ども組織を育てる会	任意	小中学生を対象に、公園などでのあそび会や季節ごとの行事を行う。
5	足立さくら会	法人	誰もが安心感を持って生活できる社会づくりに寄与するため、誰にでも起こりうる高次脳機能障害に関する相談・支援、啓発、デイサービスを行う。
6	あだちシニア大学	任意	会員相互の親睦・健康維持向上を図り、スポーツ・座学等の活動を通じ介護予防と体力、意欲向上を図る。
7	あだち社会福祉士会	任意	社会福祉に関するテーマでの勉強会や意見交換会、講演会を通じて、地域福祉に貢献する。
8	あだちセブン会	任意	地域交流を目的にサロンを運営。交流による生きがい探しを行う。
9	足立たすけあいワーカーズつみき	法人	地域福祉の増進を目的として、子どもから高齢者まで、生活の支援を必要とする市民に対して自立援助、障がい福祉サービスを行う。
10	あだち団塊ネットサエラ	任意	「うたごえ喫茶」を企画・開催するとともに、参加者との交流を図り、コミュニティづくりを行う。
11	あ★だちっこハウス実行委員会	任意	子どもやその保護者が安心して過ごせる居場所を提供する。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
12	あだちＴＳネット	任意	障がいのある人の権利擁護および生きやすい地域をつくるため、相談や講演会を行う。
13	足立ひきこもり家族会	任意	不登校、引きこもりなど精神疾患を抱える子どもを持つ家族が集える場の提供を行う。
14	足立ほがらかネットワーク	法人	地域での支え合いを軸としたコミュニティづくりのために、高齢者や障がい者の生活支援サービスを行う。
15	あつまりどころ 「おじゃんせ」	任意	高齢者も子どもも障がいのある人もふれあい、交流できる「地域の交流の場」づくりを行う。
16	アトリエ ほ・ほっと	任意	ふれあい交流を推進するコミュニティカフェとしての場所と企画の提供をする。
17	アフォール	法人	子どもを産み育てることの負担や不安を地域で支え合うため、学び合う場を提供する。
18	あやせのえんがわ	任意	昔ながらの商店で地域の交流の場を提供。また、地域の生産者と消費者をつなぐ暮らしづくりを行う。
19	綾瀬パントリー	任意	フードロスによる食材収集、生活困窮者への食糧配布、フードロスの普及、啓発を行う。
20	アンドスプーン	法人	女性や子どもの人生を取り巻く様々な環境において、情報やノウハウの共有ができる環境を構築し、問題解決に向けて支援する。
21	石綿被害者支援の会	法人	石綿による被害者の労災申請等、支援を行う。
22	WE L' S	法人	企業就労を目指す障がい者の就業準備訓練を行う。
23	ウッドボディ・バランス体操 女性の笑顔で地域活性化の会	任意	肩こり、腰痛、バランスの悪さを改善する体操を普及する。
24	A-ステップ	任意	子育てに携わる世代、性別を超えた、地域に根付くネットワーク作りをする。
25	NPOさくら彩	任意	地域の親交を深めるため、イベントや交流会を開催するほか、フードパントリーによる生活困窮者への支援を行う。
26	NPOハナミズキ	任意	貧困世帯の子どもたちへの食事の提供やバザー、英会話無料塾などを開催する。
27	ハレオリオリ	任意	障がい者とその家族、支援者が生き生きと過ごせる場の提供を行う。
28	おやじの会	任意	父親が子育てに関わる環境づくりや、障がい児の子育てに必要な知識の普及・啓発活動を行う。
29	家族を介護する人をつなぐ会	任意	在宅介護者の支援のため、介護に関する知識・理解を深める活動を行うとともに、会員相互の親睦を図る。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
30	カタリバ	法人	家庭の状況や経済的に難しさを抱える中高生に対して、食事、学習、体験活動の場を提供する。
31	からしだね	その他	保健、医療・福祉の増進と子どもの健全育成を図るために、障がい児通所・相談支援、保育所の経営、子ども食堂、学習支援等の活動を行う。
32	CALien	任意	性暴力被害者支援に関する活動を行い、誰もが健康・安心に暮らすことのできる社会を作る。
33	がるまる	任意	食育及び、家庭学習などのサポートし、自立促進や地域とのコミュニケーションの再構築を支援する。
34	キッズ・ヴィレッジ	任意	子育て世代が中心となり、子どもたちをはじめ様々な年代の人たちが関われるコミュニティを形成する。
35	キッズサポート	任意	子育て世代が生活しやすい地域を目指し、夏祭りの開催や子育て相談等の活動を行う。
36	ククタナ	任意	障がいを持つ方々が地域社会に共生できることを目的に啓蒙活動を行う。
37	グランファミリア	法人	地域の人々が孤立することなく安心して暮らせるよう地域交流事業、地域防災事業、地域福祉事業を行う。
38	国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター	法人	自殺防止を図ることを目的とし、年中無休で夜間の電話相談を行う。
39	子育てカフェ eatoco	任意	カフェ事業を通じての子育て支援、空き店舗を活用した地域交流の場づくりをする。
40	子育てスタイル研究所	任意	親子で楽しむイベントの企画、意見交換、地域の子育てコミュニティづくりを行う。
41	子育てパレット	法人	子育て環境改善、子育て相談、情報提供、一時預かり、子育てシェアハウス運営をする。
42	鼓動	法人	健全な体を維持できる地域社会の実現のため、健康教室、歩こう会、健康まつり等を開催する。
43	こども食堂支援協議会	その他	子どもの健全育成を目的に活動する区内の子ども食堂へ青果物の支援、共に支え合う協議会の運営を行う。
44	こども食堂じゃむパントリー	任意	子どもたちや食事に困っている方にお弁当の無料配布を行う。
45	こども食堂 ひよこ	任意	地域の子どもやその家族を対象に、無料や少額で「子ども食堂」を開催し、交流を図る。
46	子ども支援レストラン nanto!Nanto!!2nd	任意	孤食・貧困を抱える子どもたちを対象に、食事を提供する子ども食堂を開催する。
47	子どもの未来を豊かへつなぐ あいりす	任意	子どもの体づくりの基本となる「食」「学習」「運動」「芸術」の4つの要素に関するオンライン講座を行う。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
48	こまくさ歩こう会	任意	低山ハイキングや名所旧跡、街巡り等を通して自然と親しみ、健康向上と区域の高齢者のひきこもりや孤立化を解消する。
49	サポート倶楽部 絆	法人	生きがいづくりの支援事業、青少年育成事業、福祉サービス事業を行う。
50	しかはま自然観察会のらえもん	任意	親子で自然に親しみ、自然を楽しむことを目指し、田んぼ体験や里山体験などの自然体験を行う。
51	社会福祉法人つくしの郷生活学館 足立校	その他	障がい福祉事業をメインの事業とし、社会貢献活動として「子ども食堂」と「フードパントリー」事業を行う。
52	しゅい彩	任意	キッチンカーを利用した子どもへの食支援活動、地域マルシェへの出店を行う。
53	修復的対話の会	法人	修復的正義の理念に基づき、対話の会を通して損なわれた関係の回復を支援する。
54	出張キッズスペース mamato	任意	母親が働きながら育児を楽しめる環境、出張キッズスペース等をつくる事で健やかな子どもの成長を促す。
55	女性を応援するSHINE	法人	自立した女性を増やすことを目的に、美と健康の支援や自立・独立支援などを行う。
56	スマイル・エイジングパートナー	法人	認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、地域高齢者の認知症予防講座、脳の健康教室、地域食堂等を実施する。
57	スマイル・メイツ	任意	ハンデのある子を中心に交流の場づくり、居場所づくりを支援し、社会参加を目的とする。
58	スマイルリンク	任意	多世代の親睦と友好を深めることや社会貢献を目的とした講座やイベント等を開催し、多世代交流を図る。
59	成年後見支援センター ヒルフェあだち	その他	成年後見制度の専門職団体として、認知症高齢者や障がい者の権利擁護と福祉の増進に寄与する。
60	千住ガーディアン	任意	ひとり親家庭のトータルサポートを行う。大人にパソコンの知識、子どもにプログラミング学習を提供。
61	1010キッズ食堂	任意	子ども食堂を通して親子関係を深め、母親の気分転換の場となるようなイベントを実施する。
62	千住フードパントリー	任意	ひとり親、障がい者、外国籍、失業者など、暮らしに困っている方を対象に、生活相談の受付やフードバンクからの食品の無償提供を行う。
63	千住プレイス	任意	家庭や学校などの環境に問題を抱えている子どもに対し、居場所の提供や過ごしやすい環境づくりを行う。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
64	せんなかフードパントリー	任意	食に困る世帯を無くすため、教会でのフードパントリーと公園での炊き出しを行う。
65	育てよう！いのちの根っこ	任意	子どもたちと保護者に対し、妊娠・出産のしくみと命の大切さに関する知識の教育を行う。
66	たんぽぽ会	法人	高齢者・子育て支援事業を通じて地域社会の福祉に寄与するため、高齢者サロン、子ども食堂を行う。
67	チョイふる	その他	「生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されることのない社会」を実現するために、環境をより良くするための活動を行う。
68	つばさの会	法人	トランポリンを通して障がい者に運動の機会、健康・体力維持・余暇活動の場を提供し、機能改善・療育に関する事業を行う。
69	デフ・サポート足立	法人	市民に広く聴覚障がい者の生活・福祉に関する理解を働きかけ、聴覚障がい者の生活支援、情報保障、相談、啓発、交流、手話の普及活動をする。
70	トータルサポートスマイル	法人	法律の専門家が終活・相続の無料相談会・セミナー、つながるサロン等を開催。
71	Dopeeps	任意	学校に行きづらい、不登校で悩む子どもに寄り添い、社会で生き抜く力と自己肯定感を育むことを目的に居場所の提供と学習支援を行う。
72	Dot Link	任意	高齢者の生活上のお困りごとを解決するため、買い物代行や同行、病院への付き添い、スマートフォンの契約同行等を行う。
73	「和」 nagomi	任意	癒しと健康を目指す活動として、子育て中の方や高齢者に対してのマッサージや小学校でのふれあいマッサージ等を行う。
74	にぎりむすびギフト	任意	地域の子ども団体への食事支援や、交流の場の提供を行う。
75	日本健身文化交流協会	法人	健康増進および国際協力の発展に寄与するために、中国の健康法（健身気功、太極拳、養生法）に関する講習会開催、指導員養成を行う。
76	ねっとワーキング	その他	障がい特性のある者を支える為の相談、情報、集いの場、余暇活動、家事支援を提供する事業を行う。
77	パークエンジェルの会	任意	子どもを含めた、多様な世代が気持ちよく過ごせるための公園あそびボランティアを行う。
78	バーチャルフォトウォーク	法人	外出がままならない方に情景映像と会話を生配信し、精神的な苦痛を癒して安心できる社会に貢献する。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
79	ピースプロジェクト	法人	被災地での支援活動や『ピース食堂』を通して子どもたちを笑顔にする支援活動を行う。
80	東綾瀬子ども食堂	任意	貧困家庭の子どもだけに限らず多くの子どもと大人が集まる交流の場をつくる。
81	ひまわり運動の会	法人	環境保護啓発事業や健康推進のための健康セミナーを行う。
82	フードパントリーしゃもじ	任意	ひとり親家庭や失業者、海外留学生などの生活困窮者への食糧支援を行う。
83	フードパントリーひだまり	任意	パントリー登録世帯に対して、食品の無料提供を行うほか、希望に応じて相談支援・生活支援も行う。
84	フードパントリーぽかぽか	任意	食の不安定な世帯に対して食料の無料配布サポートを行う。
85	ぷらちなくらぶ	法人	高齢者、障がい者、児童・幼児の豊かな暮らしをサポートすることを目的に、介護、子育て支援等をする。
86	プラチナコミュニティ	任意	ますます輝くプラチナ人生を送るために、趣味や健康、仲間づくりを積極的に行う。
87	フラワーセラピー研究会	法人	花を通した生活の質の向上と環境保全意識の高揚を図るために、すべての人が花（植物）に親しむ機会を提供する。
88	Freedas&Links	その他	視覚障害がある方の外出に同行するガイドヘルパーを派遣する。
89	presents	法人	住民の健康増進を目的とし、子どもを中心とした体操教室や食育講演などを行う。
90	ぶんこ食堂	任意	文教大学を拠点に、こども食堂を実施。大学生とこどもが交流する場も併せて提供している。
91	ボードゲームズ	任意	ボードゲームを通し、その楽しさの普及を図り、コミュニケーション能力の向上とコミュニティの構築を図る。
92	ほっとカフェ虹	任意	不登校について子ども、親が支え合い学び合うための活動を行う。
93	ぽぽらーと	法人	障がい者（児）の介助や生活支援、保健・医療・福祉の増進を図る活動を行う。
94	まなびあい	任意	不登校や不登校傾向の子どもたちに居場所を提供する。
95	3つの木	任意	子どもや地域のお年寄りのための居場所づくり、ひとり親家庭の育児支援等を目的とし、こども食堂やフードパントリーを行う。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
96	みみより会	法人	聴覚障がい者が地域で自立生活できる社会の実現を目指し、情報発信、講演会、野外活動などを実施する。
97	みんなの☆よろず相談所	任意	困窮している高齢者を対象に、住居確保給付金等の包括的な支援の案内を行う。
98	メディカルリズム協会	その他	区内学校や施設で、打楽器を使ったコミュニケーションプログラムを実施する。
99	やなかパントリー	任意	フードパントリーを通じて、ひとり親世帯等生活困窮者の支援を行う。
100	やんちゃーず五反野	任意	障がいを持った方を対象に、フライングディスク体験を行い、自己表現の場の提供や社会参加を促進する。
101	読み語りボランティア	任意	子どもの健やかな成長のため、子どもと共に読み読みの世界を楽しみ学びあう。
102	NPOヨリミチライフ あだちほっとタイムプロジェクト	任意	性別・年齢・国籍を問わず、出産、育児、介護等で離職等をした人たちが自分らしく生きられるための支援を行う。
103	リフレタッチ・てのひら	任意	ハンドマッサージで子育て世代のストレスを軽減することにより、子どもたちの健全な育成を進める。
104	LILA子どもの学びを支援する会 リエゾン・アダチ	法人	貧困・親の無関心で学びのサポートが得られない子どもに学びや体験の環境を提供する。
105	レスポワール	法人	精神障がい者の「はたらく」場（就労継続支援B型）社会復帰と心身ともに健康になれるようお手伝いする福祉作業所。
106	One シード ぽけっと	任意	こども食堂「カムカムごはん」、フードパントリー「夢ぽけっと」の運営・食育、家庭学習等のサポートで子どもたちを支援。

【分野】教育・文化・芸術・スポーツ（５７団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立インターナショナルアカデミー	法人	海外からの移住者の子どもたちが、日本社会に適応するため実践的知識の習得、相談、交流の場作りをする。
2	あだち音楽文化の会	法人	地域の音楽・文化の振興を図るため、音楽コンクールや学校、企業での演奏会等を行う。
3	あだち学習支援ボランティア「楽学の会」	法人	生涯学習センターの講座・講演会の運営ボランティア、あだち区民大学塾の企画・運営を行う。
4	足立区演劇連盟	任意	青少年の健全育成、演劇文化の向上、区民による「竹の塚劇団」の運営等を行う。

【分野】教育・文化・芸術・スポーツ			
No.	団体名	形態	事業内容
5	足立区書道連盟	任意	展覧会、講演会、研究会の開催。書道の普及と会員相互の親睦を図る。
6	足立区ラグビーフットボール協会	任意	区内でラグビーの体験会を開催し、生涯にわたる健康の増進を図る。
7	あだち子ども支援ネット	その他	子ども・若者・家族・家庭の生きづらさに関わる団体・個人のネットワークや交流の場を作る。
8	あだちデザインLABO	任意	子どもを対象にアート教室を通じて子どもたちの感性・肯定感を引き出す。
9	足立フレンドリーマラソン実行委員会	任意	マラソン大会の企画、運営やランニングの普及、健康増進活動を行う。
10	ADISC（アディスク）	任意	障がい者（主に知的）に対し体を動かす場所を提供し、サッカーを通じて心身共に健康増進を図ることを目的とする。
11	綾瀬こども文庫	任意	綾瀬地域の子どもたちが身近なところで本に親しめるための環境づくりを行う。
12	安藤昌益と千住宿の関係を調べる会	任意	安藤昌益と千住宿の関係を調査、研究、発表する活動とそれによる街おこしをする。
13	NPO ナナツホシ	任意	親子を対象に区内外で自然観察や農業体験の実施をするとともに子どもの居場所づくりを行う。
14	NPO EUREKA	任意	子どもたちが本気で夢中になれることを見つけるきっかけとなる教育活動を行い、たくましく生きる人材を育成する。
15	おたまじゃくしクラブ	法人	若手の音楽家の育成のためのイベントを企画し実施する。
16	音まち計画	法人	足立区内の資源を有効活用し、まちを主体とした企画やイベントの立案と運営を行う。
17	おはなしのにわ	任意	子どもたちの健全な情緒の発達に貢献していくために、保育園・学童保育室などを起点として、絵本の読み語り、手遊びを行う。
18	キッズドア	法人	中学生のための放課後居場所づくり、大学生によるマンツーマンの学習支援をする。
19	キラいくパフォーマンスビレッジあだち	任意	未就学児から高校生までを対象とした演劇等の芸術的ワークショップや公演、地域ごとの地域密着型イベントを行う。
20	Coder Dojo 足立	任意	定期的に子どもたちの主体的なプログラミング学習をサポートする活動を行う。
21	コーチングバリュー協会	その他	社会と教育の発展に寄与することを目的とし、子どもから高齢者を対象にコーディネーション運動指導を行う。

【分野】教育・文化・芸術・スポーツ			
No.	団体名	形態	事業内容
22	五色桜の会	法人	五色桜をテーマにした研究、芸術文化の発掘、創造。桜のまち足立の認知度向上に取り組む。
23	KOTO普及の会	任意	日本の伝統文化を体感する環境の形成のため、箏・三味線のミニライブや体験などを行う。
24	コミュニティーカフェ Studio Re・BORN	任意	コミュニティーカフェとして地域活性化のための場所を提供する。
25	コミュニティ・サロン 「トゥギャザー」	任意	健康で楽しみを持ち、社会に貢献したいと考えるシニア世代の集まる場所をつくる。
26	サザンさわやか倶楽部	任意	団塊世代の生きがい・仲間づくりに寄与することを目的とし、スポーツ吹き矢、ウォーキングを通して交流を図る。
27	下町文化ウェディング協議会	任意	外国人観光客に対する体験イベント、区役所での届け出挙式などの婚活事業を行う。
28	すし文化講座 Susy's Zoo	任意	日本のおもてなしの心の継承のため、江戸前寿司の歴史や文化、御作法を学ぶ講座を行う。
29	千住文化普及会	法人	千住宿、芭蕉文学など郷土文化の伝承のため文化解説員の登録・養成をする。
30	全日本シニアアンサンブル連盟	法人	中高年を中心とするアンサンブル演奏（器楽）の振興を図り、生涯学習活動の向上発展を図る。
31	大衆芸術開拓組合	任意	工作や創作の講師を行い、健全なコミュニティの維持・発展に協力する。
32	Chance For All	法人	小学生が放課後通う学童保育を運営する。
33	集もろう会	任意	古民家、ギャラリーを利用し、イベント、交流会、ワークショップを開催する。
34	哲学かふえ Param 風	任意	月１～２回、ゲストを招いた講演会や意見交換会、哲学に関する勉強会を都内や地方に出向いて開催する。
35	東京芸術着物協会	法人	日本の民族衣装着物の着付けを指導し、伝統文化の継承につとめる。銭太鼓を着物発表の場に取り入れている。
36	東京剣舞会エッジー志伝流ー	任意	殺陣・日本舞踊等の教室の開催、イベント・祭りなどを通じて日本伝統芸能を学び、参加者の親睦を図る。
37	日本バトントワリング協会	法人	バトントワリングに関する教育普及、技術の向上、指導者育成に関する事業を行う。
38	日本ライフナビゲーター協会	法人	人間教育を行うことでライフナビゲートの普及啓発を促進する。
39	Pastel・Switch	法人	演劇、朗読の公演、アテレコ等の話術演習を通じ、子どもの健全育成、より良い社会教育を推進する。

【分野】教育・文化・芸術・スポーツ			
No.	団体名	形態	事業内容
40	スペシャルニーズ余暇クラブ カラフル	任意	発達障がい児や保護者の親睦、さまざまな経験を通して心を豊かにする活動として野外活動や調理実習、講座等を行う。
41	Human Animal Pairs	法人	地域猫のTNR推進や保護猫・保護犬の譲渡、動物愛護の啓蒙活動等を行う。
42	ヒューマンラブエイド	その他	いじめ・虐待・引きこもり問題を中心に、子どもや保護者、学校支援を行う。
43	ほしかぜ	その他	地域活性化を目的に、地域の子どもたちが様々なパフォーマンスを学び、イベントでの発表を行う。
44	マケナイズ	任意	デイケアサービス施設を中心に音楽活動を実施し、余生に元気を与える活動をする。
45	学びすとサロン「学友会」	任意	学習情報の提供、学習活動の継続化、学習実践者の相互交流、ネットワークづくりを行う。
46	まほろば	任意	発達障害を含む生きづらさを抱えている子どもとそれに関わる大人たちへの支援および理解、啓発を行う。
47	ムジカ・フレスカ	法人	声楽に関する研究・育成・普及・交流をし、音楽家を志す若者の活動支援を行う。
48	メタノイア	法人	外国にルーツをもつ子どもの保育や日本語教育等の学習支援、外国人家庭や野宿生活者等の生活相談および支援する。
49	モアプレジャー	法人	SNS等を通して普段スポーツする機会が無い人達で集まり、誰でも気軽にスポーツできる環境を作る。
50	やわらかアートアカデミー	任意	五感を使って絵を描くアートレッスンや作品の展覧会を開催することで、芸術に触れる機会の提供を行う。
51	妖怪の遊び場	任意	妖怪をテーマにした朗読劇やお芝居、ワークショップなどを利用しての地域交流を目指す。
52	妖怪ピーク	任意	子どもたちの想像力を育み表現の楽しさを知ってもらうため、既成にとらわれないワークショップを開催する。
53	RUN JO KAI	任意	ランニングを通した幅広い年代層へのスポーツの振興および市民の交流を行う。
54	らんたん亭	任意	工作ワークショップや子ども食堂を開催。表現活動や対話を通して「人が人らしくいれる社会」の構築に寄与する。
55	朗読ユニットぼらりす	法人	「音」と「ことば」を通して、日本語の豊かな表現を広める活動、朗読講演、声の練習会等を開催する。

【分野】教育・文化・芸術・スポーツ			
No.	団体名	形態	事業内容
56	路地裏寺子屋ろじこや	任意	落語会や琴、雅楽ライブ等を実施し、日本文化を身近に体験し興味を持てる場を提供する。
57	和文化継承委員会まほろば	任意	和文化のイベントを通じて地域の歴史に興味を持ってもらい、親や子どもの学びの場、地域の交流の場を提供する。

【分野】まちづくり・環境（２７団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立活き活き会	任意	高齢者、障がい者、子どもたちの見守りや、地域活性化のための行事を行う。
2	足立区日本防災士会の会	法人	防災啓発活動、地域防災力向上、災害時における支援活動を行う。
3	足立区本木・水辺の会	任意	本木ワンドの自然保護と活用。憩の水辺、環境学習の場としての維持管理を行う。
4	足立区を盛り上げる会	任意	区民全員が対象の交流会やスポーツ大会、季節にちなんだ集まりを行う。
5	あだち動物共生ネットワーク	法人	ペットの飼育マナー向上、ペット防災、地域の野良猫問題の解決のため、啓発や情報発信を行う。
6	足立パドラーズ	任意	綾瀬川、毛長川、花畑川の美化活動（ゴミ拾い）やカヌー教室を開催する。
7	足立平成五色桜を育む会	任意	荒川つつみに植栽された五色桜を足立区の誇りとなるよう桜並木の成長を見守り、育む活動を行う。
8	あだち・まちづくり・コモンズ	法人	自治体や地域住民と協働した新しい「あだちまちづくり」の推進をする。
9	綾瀬サロンほっとミックス	任意	年齢や性別にかかわらず、顔の見える関係を大切にした地域コミュニティをつくる。
10	あやせもりのひろば	任意	子どもまたはその家族の貧困や孤食の軽減を目指し「食育」や「交流」等の企画・運営を通じて健全な地域づくりを進める。
11	あらかわ学会	法人	荒川に関する調査や研究活動の報告、情報の交換ならびに交流の場を持つ。
12	エコロジー夢企画	法人	綾瀬川の環境調査と提言活動、生物生息環境調査、再生可能エネルギーの普及啓発を行う。
13	花畑養蜂ボランティア	法人	蜜蜂の飼育を通して地域社会のつながりづくり、自然環境を守り、共生するまちづくりを行う。

【分野】 まちづくり・環境			
No.	団体名	形態	事業内容
14	わんわんサポーター綾瀬	任意	公園内での犬と飼い主のマナーの向上や、犬を通じた住民の世代を超えた交流を行う。
15	五反野ワンドの自然再生を考える会	任意	五反野ワンドを完成当時のように復元し、自然再生を目指す。
16	森林インストラクター会 フォレスト	法人	森林インストラクターの視点から森林環境生態系に関する啓発や教育、森林保全や再生に向けた活動を行う。
17	スマイル農園・食談会	任意	農業の体験と収穫物を食材として会食する活動を通じて、地域の人と人の絆をつなげる。
18	千住いえまち	任意	千住の歴史的建物やまちなみの保存・継承に関する他団体や個人への協力や調査、研究、建物活用、まちめぐりイベントを行う。
19	地域文化風習振興会	法人	災害対策への意識を高め、地域コミュニケーションの活性化を図るため、東日本大震災復興祭イベントを開催する。
20	東京のCO2削減で都内観光を推進する会	法人	CO2削減のイベント（プラスチック削減）や、カナダで普及しているプラスチック代替商品などの紹介等を行う。
21	ナナシノ商店街	任意	商店から出る廃材を活用した買い物バッグの開発・製造・販売や、商店と顧客を繋げるイベントの開催を行う。
22	ニャンコTNRの会	任意	TNR活動（飼い主のいない猫の不妊、去勢手術）によって野良猫を減らし、人と猫との共生、調和のとれた街づくりを目指す。
23	ハッピーハロウィンプロジェクト	任意	地域の子どもたちにハロウィンを楽しんでもらえるイベントの企画や運営を行う。
24	ベーゴマ普及協会	法人	ベーゴマを通じて世代、地域、伝統文化をつなぐ事を理念に、日々ベーゴマ回しを普及する。
25	防災ラジオ足立区準備会	任意	「災害に強いまち足立区」に貢献のため地域防災メディアの構築を目指し情報の発信、自治体との連携・協働の確立を進める。
26	みんなの食堂うめだ	任意	子どもから大人まで気軽に参加できる食堂を運営し、地域の憩いの場をつくる。
27	六町駅前商店会resk	任意	商店会を中心とした地域振興・活性を目指すため、地域でのフェスタ・キッズランチ開催や買い物支援の移動販売を行う。

【分野】IT/経済活動（２団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	Code for Adachi	任意	ITを活用し、オープンデータの活用推進、プログラミング学習支援等を行う。
2	デジタル生活研究所	任意	デジタル化の利用動向に関する調査と研究や、デジタル機器の普及活動を行う。

【分野】国際交流・平和・人権（１３団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立区女性団体連合会	任意	足立区の女性団体が連帯協力し、男女共同参画の推進と平和で豊かなまちづくりを目指し活動する。
2	あだち女性大学ネットワーク	任意	個人の人権を尊重し、女性の地位の向上を図るため、研修会や講演会などを行う。
3	Alliance You Too	任意	ジェンダー平等を目指す講座や研修会の開催や、マガジン発行、対話会・読書会を行う。
4	人権問題研究協議会	その他	差別や人権侵害の防止と被害者の支援を行い、エンパワメントを高めることを目的とする。
5	青少年自立援助センターYSCグローバルスクールあだち	法人	外国にルーツのある子どもや若者、その保護者を対象に日本語学習、高校進学、就労支援等を行う。
6	千住九条の会	任意	日本国憲法を守り、生かし、世界に広げる活動を行う。
7	なりわいプロジェクト	法人	働き方、生き方の活性化を目的とし、キャリアに関する情報発信や支援を行う。
8	日中経済技術促進会	任意	日中両国の経済、技術、文化、産業界をはじめ、産官学研の連携により両国の共なる発展に寄与する活動を行う。
9	日本語教室ともだち	任意	日本語の勉強を通じた相互理解の向上と親睦。外国人対象に日本語を教える。
10	forksup	任意	外国人労働者のための仕事上や生活上の相談会、緊急時の同行支援等を行う。
11	M. U. M	任意	東アフリカ諸国の活動を支援する。地域（足立区）の環境問題に取り組む。
12	ミナー	その他	難民および難民申請者への支援を行い、日本の地域社会における難民との共生を目的とする活動を行う。
13	遺言相続後見ネット足立	任意	相続、遺言に関して、専門家による「無料相談会」「無料講習会」などの活動により、助言や支援を行う。

【分野】その他（１０団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	愛着あだちの会	任意	足立区に愛着を感じるために何が必要かを研究。自主的な学習活動の場を作る。
2	ADACHI WOMEN&ALLIES	その他	自分自身の生活と人生を決定する権利と活力を持つことができる男女共同参画社会の実現を目指す。
3	アットホーム婚活ハウス	任意	ひとり親の結婚活動を支援するための相談、イベント、婚活セミナー等を開催する。
4	綾瀬学園綾瀬生涯センター	法人	障がい者（児）に対して通所治療教育を行う。
5	えがお	その他	相続、遺言、成年後見等に関する無料相談会を実施する。
6	団塊綾瀬ネットワーク「だんだん」	任意	団塊世代シニアの社会的参加を促進。子どもたちに物づくりの楽しさ、感動を伝える。
7	日本防災推進機構	法人	災害救援活動に役立つ講習会やイベントを開催し、地域の防災力を高める活動を行う。
8	Fletcher	任意	小松菜のPR活動を行い、健康・食育・食品ロスへの関心を高める。子ども食堂や食育イベント、介護施設へ小松菜の提供をする。
9	あだち防災キッチンカー協会	任意	指定の避難所における食事の提供、その他防災士による防災知識のWSや防災キャンプ等を行う。
10	ポルテホール連絡協議会	任意	地域づくりの為にNPOや地域の方が活動する場を提供し、住民全体の活動を広く社会に伝え地域の活性化に寄与する。

5 NPO活動支援センター令和4年度実績一覧

(1) センター登録団体向け講座一覧

	実 施 日 場	講 座 名 講 師 名	参加人数 (定員)
1	令和4年5月～10月 合計4回 NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】団体の広報担当になろう！SNS広報・PR力アップ講座（基礎編・発展編） 【講師】NPO活動支援センター職員 奥川 加奈子 NPO活動支援センター相談員 秋本 創	会場 11名 (各5名) Zoom 6名 (各5名)
2	令和4年5月～5年2月 合計8回 NPO活動支援センター	【対面】Jimdoで簡単！ホームページ作成講座（基礎編・発展編） 【講師】NPO活動支援センター職員 坂下 百音	40名 (各8名)
3	令和4年6月～5年2月 合計6回 NPO活動支援センター	【対面】団体のPR動画を作ろう！スマホで動画作成講座（基礎編・発展編） 【講師】NPO活動支援センター職員 垣野内 嵯雪	19名 (各10名)
4	令和4年6月～11月 合計4回 NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】パワーポイントで作る！チラシ作成講座（基礎編・発展編） 【講師】NPO活動支援センター職員 藤本 由和	会場 10名 (各5名) Zoom 3名 (各5名)
5	令和4年11月～5年1月 合計2回 NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】団体活動を分かりやすく伝えるための文章の書き方講座 【講師】NPO活動支援センター相談員 秋本 創	会場 1名 (各5名) Zoom 7名 (各5名)
6	令和4年6月、7月 合計2回 NPO活動支援センター	【対面】地域活動のためのZoom活用講座 【講師】NPO活動支援センター職員 佐藤 礼菜	2名 (各10名)
7	令和4年7月3日(日) NPO活動支援センター	【対面】あだち協働パートナーサイト登録・活用相談会 【講師】NPO活動支援センター職員 黒沢 佳祐	1名 (10名)
8	令和4年7月10日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】助成金活用講座（げんき応援事業助成金事前説明会） 【講師】NPO活動支援センター職員 黒沢 佳祐 協働・協創推進課職員 成島 輝	会場 2名 (なし) Zoom 6名 (なし)
9	令和4年8月26日(金) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】NPO法人設立準備講座 【講師】NPO法人メタノイア 代表理事 山田 拓路	会場 1名 (10名) Zoom 0名 (10名)

【センター登録団体向け講座一覧】			
	実 施 日 会 場	講 座 名 講 師 名	参加人数 (定員)
10	令和4年8月28日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】任意団体のためのNPO会計入門講座 【講師】街活性室株式会社 管理室長 折原 孝幸	会場2名 (10名) Zoom3名 (10名)
11	令和4年9月6日(火) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】会議の質がグンと上がる！ グラレコ教室 【講師】N-style 代表 野際 里枝	会場1名 (10名) Zoom2名 (10名)
12	令和4年10月1日(土) NPO活動支援センター	【対面】団体活動を活発化させる！ワークショップ入門講座 【講師】NPO活動支援センター職員 橋爪 晃平	8名 (10名)
13	令和4年10月23日(日)	【中止】【対面】あだち協働パートナーサイト登録・活用相談会 【講師】NPO活動支援センター職員 黒沢 佳祐	0名 (10名)
14	令和4年11月13日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】団体を長続きさせるための団体運営マネジメント講座 【講師】街活性室株式会社 代表取締役 斎藤 徹	会場1名 (10名) Zoom1名 (10名)
15	令和5年1月21日(土) 2月4日(土) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】いまこそ始めよう！クラウドファンディング入門講座 【講師】ABFLY Works 株式会社 代表取締役社長 中谷 真規	会場5名 (各10名) Zoom7名 (各10名)
16	令和5年2月28日(火) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】基礎からはじめるSNS入門講座 【講師】NPO活動支援センター相談員 秋本 創	会場5名 (5名) Zoom0名 (5名)
17	令和5年3月12日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】“伝わる力”を身につける！プレゼン入門講座 【講師】NPO活動支援センター職員 橋爪 晃平	会場1名 (5名) Zoom1名 (5名)
18	令和5年3月25日(土) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】助成金活用講座(げんき応援事業助成金事前説明会) 【講師】NPO活動支援センター職員 橋爪 晃平 協働・協創推進課職員 成島 輝	会場7名 (なし) Zoom4名 (なし)
合 計			会場117名 Zoom 40名

(2) 相談事例等

分野・件数	主な相談・支援内容
助成金・補助金関連 【118件】	・ げんき応援事業助成金申請内容の助言 ・ 民間団体助成金の紹介、申請への助言 ・ 申請書類作成及びプレゼンテーションへの助言
団体運営関連 【82件】	・ 活動、事業展開への助言 ・ 活動場所等の紹介 ・ 法人会計処理
団体の紹介関連 【76件】	・ 活動団体の紹介 ・ 他団体との事業連携
その他 (区民・新規団体等からのお問合せ) 【64件】	・ 団体登録申請 ・ 講座の紹介
NPO・法人の設立関連 【41件】	・ 法人化への助言（メリット、デメリット等） ・ 事業報告書作成、定款変更等の助言および作成支援
都・法務局関連 【4件】	・ 登記関係書類作成の助言 ・ 事業報告書作成の助言

【 総合相談事例 1 】

子ども食堂を新たに始めたい。助成金取得も視野に入れているが、その前に団体の設立方法や運営上必要なことを教えてほしい。

■支援内容

まず、法人格を持たない任意団体の設立についてとセンターへの団体登録、助成金の募集概要について説明。子ども食堂の運営については、集客や食材調達など運営上必要な事柄を他団体を例に挙げながら説明した。

【 総合相談事例 2 】

個人での活動に限界を感じ、NPO法人の立ち上げを検討している。実際の法人化にあたりどのような手続きが必要か知りたい。

■支援内容

まず、法人の作り方と法人化によるメリット・デメリットを説明し、以下のような対応策を提案した。①任意団体をたちあげ、仲間を増やす。②助成金を活用し任意団体で活動しながら、事業の安定化を図る。③助成金以外の様々な資金調達の方法を紹介し、活動資金獲得を進める。

(３) 提供食品・物品一覧

食品・物品提供元	主な提供食品・物品	提供数（年間）	提供団体数
株式会社農友	・ 米	３５６キロ	４７団体
東京都米穀商小売商業組合	・ 米	７２０キロ	６１団体
阿久津ブロイラー株式会社	・ 鶏むね肉	１４２キロ	４５団体
下山畜産株式会社	・ 牛肉	２４０キロ	９６団体
株式会社ヤマノ	・ 豚肉	４８０キロ	１４８団体
有限会社浅野商店	・ 冷凍食品 等	１６６点	４７団体
株式会社享屋	・ 中華麺	切れ端部のため 測量不可	２２団体
津軽みらい農業協同組合	・ 米	４００キロ	２５団体
ニッポンメンテナンスシステム株式会社	・ 米	２４０キロ	１２団体
葛西農園	・ りんご	３８７個	２８団体
We Support	・ レトルト食品、お菓子 など	２３，３１５点	１６６団体
株式会社フーディーネット	・ 冷凍食品	９６１個	１９団体
株式会社 新栄物産	・ 冷凍食品	４５７点	７団体
全国食支援活動協力会	・ お菓子、冷凍食品など ・ ローススライス	１，２８５点 ２５キロ	３２団体
パルシステム東京	・ 米 ・ 飲料水 ・ おむつ	９６５キロ ５４点 ４４点	３８団体
イケア・ジャパン株式会社	・ お菓子、冷凍食品など	４，３９２点	５０団体
一般社団法人バンクフォース マイルズ（コスメバンクプロ ジェクト）	・ 化粧品	７２０点	集計無し
足立成和信用金庫	・ フードドライブ ・ 味噌 ・ 米	３９７点 ４４８点 ８００キロ	４２団体
プラウドシティ梅島自治会	アルファ米	３００食	１団体

食品・物品提供元	主な提供食品・物品	提供数（年間）	提供団体数
第一生命保険株式会社	・ フードドライブ ・ 生理用品	200点 378点	5団体 10団体
株式会社マルハン	・ お菓子、飲料など	540点	11団体
ポップニート株式会社	・ ポケットティッシュ	5,000点	10団体
銀座ステファニー化粧品株式会社	・ 歯ブラシ	11,700点	18団体
株式会社サンベルクス	・ お米	8335キロ	27団体
株式会社インソース	・ 生理用品	1080点	14団体
株式会社パル	・ サニタリーショーツ	528点	13団体
株式会社カーブスジャパン	・ フードドライブ	202点	6団体
株式会社読売広告社	・ 飲料水	960点	10団体
一般区民	・ さば缶 ・ 米 ・ 玄米 ・ フードドライブ ・ 児童書	2400点 10キロ 60キロ 31点 36点	21団体
足立区	・ フードドライブ ・ 粉ミルク ・ アルファ米 ・ クラッカー ・ 子ども用おむつ ・ 生理用品	4886点 8点 7150食 5460食 103ケース 36点	115団体

- ・ 物品提供企業等 30事業者
- ・ 受領団体 49団体
- ・ 受領団体（延べ） 393団体
- ・ 団体が配布した人数（延べ） 38,532人

(4) 意見交流会一覧

	実 施 日 場	タ イ ト ル	参加人数
1	令和4年5月28日(土) 梅田地域学習センター	【対面】 登録団体交流会	21名
2	令和4年6月29日(水) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 子ども食堂・フードパントリー交流会第1回	17名
3	令和4年10月7日(金)	【オンライン】 子ども食堂・フードパントリー交流会第2回	7名
4	令和4年1月27日(金) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 子ども食堂・フードパントリー交流会第3回	27名
5	令和4年3月16日(木) こども支援センターげんき	【対面】 環境交流会「子どもたちへの支援を環境面から考える」	20名
合 計			92名

(5) あだち皆援隊講座一覧

	実 施 日 場 会 場	講 座 名 講 師 名	参加人数 (定員)
1	令和4年4月24日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 ビジネスでまちを元気に！コミュニティビジネス 講座（第1回） 【講師】街活性室株式会社 代表取締役 斎藤 徹	会場5名 (15名) Zoom5名 (10名)
2	令和4年5月15日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 ビジネスでまちを元気に！コミュニティビジネス 講座（第2回） 【講師】路地裏寺子屋ろじこや 米本 芳佳 合同会社えんがわ 森川 公介	会場11名 (15名) Zoom5名 (10名)
3	令和4年6月5日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 ビジネスでまちを元気に！コミュニティビジネス 講座（第3回） 【講師】街活性室株式会社 代表取締役 斎藤 徹 合同会社えんがわ 森川 公介 企業経営支援課 創業支援係 早川 美登子	会場9名 (15名) Zoom1名 (10名)
4	令和4年6月26日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】あなたのスキルを活かしたボ ランティアを始めよう！プロボノ入門セミナー 【講師】認定NPO法人サービスグラント 中川 寛允 NPO EUREKA 眞野 玲子 キッズ・ヴィレッジ 白倉 修一 一般社団法人ほしかぜ 土屋 督夫	会場11名 (20名) Zoom8名 (10名)
5	令和4年7月31日(日) 伊興地域学習センター	【対面】 親子で参加！ゲームで学ぶSDGs教室 【講師】NPO活動支援センター職員	5組10名 (10組20名)
6	令和4年8月3日(水) 梅田地域学習センター	【対面】 親子で参加！ゲームで学ぶSDGs教室 【講師】NPO活動支援センター職員	4組10名 (10組20名)
7	令和4年8月7日(日) NPO活動支援センター	【対面】 親子で参加！ゲームで学ぶSDGs教室 【講師】NPO活動支援センター職員	2組4名 (10組20名)
8	令和4年8月21日(日) NPO活動支援センター	【対面】 親子で参加！ゲームで学ぶSDGs教室 【講師】NPO活動支援センター職員	7組16名 (10組20名)

【あだち皆援隊講座一覧】			
	実 施 日 場	講 座 名 講 師 名	参加人数
9	令和4年9月4日(日) NPO活動支援センター	【対面+オンライン】 被災地のリアルから学ぶ防災講座 【講師】 ReVA 復興ボランティアチーム上尾 市川富代子 足立区防災士の会 村岡孝次 グランファミリア 鈴木圭子 足立区総合ボランティアセンター 高橋祐治	会場 14 名 (15 名) Zoom 4 名 (15 名)
10	令和4年10月2日(日) NPO活動支援センター	【対面】足立の魅力を動画で発信！動画作成講座① 【講師】 まち映画製作事務所 代表 藤橋 誠	19 名 (20 名)
11	令和4年11月6日(日) NPO活動支援センター	【対面】足立の魅力を動画で発信！動画作成講座② 【講師】 株式会社伊勢出版 伊勢 新九朗	19 名 (20 名)
12	令和4年11月26日(土) 梅田地域学習センター	【対面】人生100年時代～古き良きあだちを紡ぐ～ 【講師】 秋草学園短期大学学長 北野 大 千住文化普及会 櫛原 文夫 ベーゴマ普及協会 有澤 次男 足立区本木・水辺の会 金子 勝治	24 名 (40 名)
13	令和4年12月11日(日) こども支援センターげんき	【対面+オンライン】 あだち子ども食堂フードパントリーフォーラム 【講師】 NPO法人全国こども食堂支援センター むすびえプロジェクトリーダー 森谷 哲 ピースプロジェクト 矢沢 りえ スマイルエイジングパートナー 荻田 佳奈枝 チョイふる 栗野 泰成	会場 21 名 (50 名) Zoom 12 名 (50 名)
14	令和4年12月18日(日) NPO活動支援センター	【対面】足立の魅力を動画で発信！動画作成講座③ 【講師】 株式会社伊勢出版 伊勢 新九朗	12 名 (20 名)
15	令和5年1月15日(日) NPO活動支援センター	【対面】足立の魅力を動画で発信！動画作成講座④ 【講師】 株式会社伊勢出版 伊勢 新九朗	10 名 (20 名)
16	令和5年1月29日(日) 梅田地域学習センター	【対面+オンライン】 外国にルーツを持つ子どもたちの支援 【講師】 文教大学 国際学部 准教授 孫 美幸 NPO法人メタノイア 山田 拓路 認定NPO法人キッズドア 広本 充恵 認定NPO法人カタリバ 宮城 千恵子 NPO法人青少年自立援助センター 平野 成美	会場 31 名 (40 名) Zoom 37 名 (50 名)

【あだち皆援隊講座一覧】			
	実 施 日 場	講 座 名 講 師 名	参加人数
17	令和5年2月12日(日) NPO活動支援センター	【対面＋オンライン】 あだち ICT 活用フォーラム 【講師】 金沢市市民局長 松田 俊司 足立区ICT戦略推進担当課課長 高橋 皇介 Code For Adachi 村上 武士 CoderDojo足立 植村 公彦 綾瀬サロンほっとミックス 大竹 恵美子	会場 16 名 (20 名) Zoom 10 名 (20 名)
18	令和5年2月26日(日) NPO活動支援センター	【対面】 傾聴ボランティア入門講座 【講師】 公認心理師・臨床心理士 尾崎 健一 傾聴ボランティア足立 SPC クラブ	23 名 (20 名)
19	令和5年3月19日(日) NPO活動支援センター	【対面】 地域活動はじめての一步 あだちづくりワークショップ 【講師】 社会福祉士 杉山 久美子	13 名 (20 名)
合 計			会場 278 名 Zoom 82 名

令和４年度 ＮＰＯ活動支援事業報告書

令和５年１２月発行

発 行 足立区

編 集 足立区 政策経営部 あだち未来支援室
協働・協創推進課 協働・協創推進担当

〒120-8510

足立区中央本町 1-17-1 （本庁舎南館 9 階）

電 話： 03-3880-5020

F A X： 03-3880-5610

E - mail： npo@city.adachi.tokyo.jp